

Be a *changemaker*!

changemaker

ファーストペンギン

リスクを恐れず未開拓の世界に挑戦する最初のペンギンのこと。

ペンギンはいつも集団で行動をすることで知られていますが、そこに特定のリーダーや強いボスがいるわけではありません。そんな中で、エサを捕るために天敵がいるかもしれない海上に最初に飛び込む1羽のペンギンがいます。勇気ある最初のペンギンが身をもって安全を示してくれることで、仲間のペンギンたちもあとに続いて飛び込むことができるのです。

ファーストペンギンのように、

予測困難な社会でチャレンジし続ける人のことを、
星の杜では“**チェンジメーカー**”と呼んでいます。



学校法人 宇都宮海星学園

星の杜
中学校・高等学校

CONCEPT BOOK 2026

2045年。シンギュラリティ
1台のPCが全人類の知
確実に到来する。これ
生きる? 受け身になるな。
論理的に思考し逆算して動く。
新たな価値を創造
身につけ
るべきは社会的知
さあ、準備しよう。キミには
可能性がある。未来は自分で
チェンジメーカー

(技術的特異点)と呼ばれ、
性を超える年。その未来は
からの20年、キミはどう
変化を恐れるな。
テクノロジーを味方にして
する。
性だ。
無限の
切り拓け。
になれ。
校長 小野田 一樹

CONTENTS

- 04 校名に込めた想い / スクールミッション・ポリシー
- 06 校長メッセージ / 星の杜タキソノミー
- 08 星の杜メソッド
- 10 星の杜が考える「探究×デジタル」が生み出す学びの価値
宮田理事 × 橋本先生 × 木村先生 クロストーク
- 12 星の杜教育の強み01 グローバル教育
- 14 星の杜生の海外留学REPORT
- 16 星の杜教育の強み02 「超」探究宣言
- 18 探究発表会REPORT
- 20 星の杜教育の強み03 デジタルコンパス
- 22 Innovative Learning 01 大学との連携協定
- 24 Innovative Learning 02 ハイスクールコンソーシアム
Innovative Learning 03 企業・大学との協働
Innovative Learning 04 客員教員制度
- 26 星の杜中学校の教育
- 28 星の杜高等学校の教育
- 30 大学入試合格実績 / 合格者INTERVIEW
- 32 Hoshinomori Teachers File [教員紹介]
- 34 SCHOOL DAYS
- 36 HOSHINOMORI Student's LIFE [生徒の一日]
- 38 FIND A SHINING STAR [生徒紹介]
- 42 STUDENT JOURNAL
- 46 CLUB & CIRCLE
- 48 星の杜が考える部活動って? / チェンジメーカーAワード
- 50 理事長メッセージ / ACCESS MAP

「星」が生徒一人ひとりを、
「杜」は清らかな場所を表します。

星からイメージされるのは、

空や宇宙など、人間の力が及ばないほどの大きな存在

夢や願いを託し、叶える象徴

そして輝く才能（タレント）です。

才能にあふれ、夢を抱いた生徒が集う場所

それが星の杜中学校・高等学校です。



学校法人 宇都宮海星学園
星の杜
中学校・高等学校

PURPOSE 創造と貢献

SCHOOL MISSION 新たな価値を創造し 社会に貢献する、 チェンジメーカーの育成

What is a changemaker?
“これはおかしいかもしれない”という身近な気づきや違和感を、見て見ぬふりをせず、仲間を集めて解決するため行動できる人

POLICY

01 ADMISSION POLICY

- 自己を「律する」ことができる生徒
- 仲間をいたわり「協働」できる生徒
- 夢に向かって「チャレンジ」できる生徒

こんな生徒の入学を
私たちは待っています！

02 CURRICULUM POLICY

星の杜メソッド（ラーニングクリエイト・ライフクリエイト）の実践

ラーニングクリエイトメソッド

教科の授業や探究を中心とした学習面において、チェンジメーカーを育成するための学びのメソッド。あらゆる「問い合わせ」を起点に、自ら学び、考え、行動する力を育む学びの仕組みを体系的に構築している。

ライフクリエイトメソッド

学校生活や行事、特別活動など、日常のあらゆる場面を「学びの機会」として捉え、生徒一人ひとりの非認知スキルを育む生徒支援メソッド。内面的な成長を促すために大切な“つながり”を示している。

03 GRADUATION POLICY

- 開発力 & 創造性 … 論理的に思考し、開発・創造する能力
- 共感力 & 協調性 … 他者を尊重し、協働できる能力
- 課題発見・解決力 … 自ら課題を発見し、解決できる能力
- レジリエンス … 困難な状況でも冷静に分析し、適応できる能力
- メタ認知 … 自身を客観的に見つめ、コントロールできる能力

将来の活躍に不可欠な
5つの力を育てます



星の杜中学校・高等学校 校長
小野田一樹

民間企業で23年間、教育事業を担当し、全国の中学校・高校約200校を訪問、世界40の国・地域のさまざまな教育機関を視察し日本の教育の課題を実感する。2020年に起業。株式会社EDUCATION design 代表取締役を兼任。2021年に宇都宮海星女子学院の校長補佐に着任した。2024年4月より現職。

教育新時代の最前線へ

星の杜の3年目がスタートしました。今年度で中学1年生から高校3年生まで全学年が揃い、星の杜の完成年度と位置付けています。

校則なし、定期テストなし、チェンジメーカー、デジタルデザインなどなど、聞き慣れないワードが飛び交う“謎”的な学校も、今では、宇都宮市内はもちろん、県外の方々からも「応援」や「期待」の声をいただくことが多くなってきました。開校以来、全国各地から本当にたくさんの学校が星の杜の視察に足を運んでいただけたようになりました。まだスタートしたばかりの本校にとって、これは大変大きな自信に繋がっています。星の杜は、本当に社会で活躍できる人材を育てるために、中学校・高等学校(中等教育)のこの大切な時期に教育機関として何ができるのか?何をしなければならないのか?を徹底的に考え、日々の学びを設計しています。そして星の杜10年ビジョンとして「教育新時代の最前線へ」を掲げました。

学びと社会を接続させる

日本は、世界の中では課題先進国と言われています。世界で最も急激な速度で進んでいる少子高齢化は、経済面・社会面で、これからの未来を生きる若者に大変重い荷物を背負わせることになります。GDPは、10年前に中国に、2023年にドイツに抜かれ4位となりました。また、IMD世界競争力ランク2023では、64か国中、過去最低の34位になり、ランクインの低下が止まりません。その中でも特に低い評価を受けているのが、デジタルスキルが63位、国際経験、企業の俊敏性、ビッグデータ分析・活用が最下位の64位です。OECDが実施している学習到達度調査(PISA)の成績では日本は世界のトップクラスにも関わらず、どうして特に世界のビジネスシーンから日本の存在感が消えていってしまったのでしょうか。それは日本の教育に問題があるからだと思っています。中等教育時代の

星の杜タキソノミーとは?

「星の杜タキソノミー」は 非認知スキルを重視した カリキュラム

スクールミッションでもある「新たな価値を創造し、社会に貢献する、チェンジメーカーの育成」に向け、星の杜では非認知スキルの育成を重視したカリキュラムを採用しています。これからの社会で活躍できる非認知スキルを育成する教育は「21世紀型教育」とされ、新学習指導要領やOECDラーニングコンパスでその重要性が示されており、日本のみならず世界中の教育の指標値になっています。



ブルームタキソノミーに基づいた指標

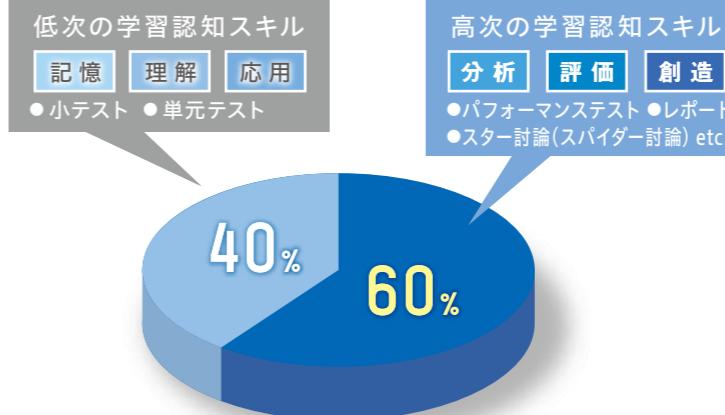
星の杜タキソノミーの基になったブルームタキソノミーは、1956年にアメリカの教育心理学者ベンジャミン・ブルームにより提唱されました。詰め込み型の学習だけでなく、教育の目標を知識の正しい理解、応用、分析、評価、創造に分類し、カリキュラムを通して生徒がこれらのスキルを身につけるのが好ましいという教育の考え方です。

これからの時代に 必要とされる 非認知スキル

非認知スキルは、仕事や人間関係、家族とのコミュニケーションなど、人生のさまざまな局面で求められるものです。特に、現代の複雑で変わりやすい社会に適応するために不可欠とされています。星の杜の教育は、生徒が非認知スキルを身につけ、多様な問題にポジティブに向き合い、解決に向けて挑戦できるようになることを目指しています。



目に見えない非認知スキルは、どうやって評価するの?



▼ループリックの例 [中学校1年生英語]

発表にかかわること			
評価	声	目線・態度	英語
A(3)	相手に分かりやすいように間や抑揚に気をつけてながら、はっきりと大きな声で発表している。	相手と目線を合わせながら発表している。(堂々としている/原稿はほとんど見ていない)	スムーズに正しい発音で読めている。
B(2)	部分的に間や抑揚に気をつけたり、ところどころ聞こえない声で発表している。	原稿やスクリーン(モニター)に半分程度目を落としながら発表している。	ところどころつまずいたり、発音のミスがある。
C(1)	聞き取りにくく、間や抑揚に工夫がない。	相手を見ず、ほとんどの時間を原稿を見ながら発表している。	区切る場所が適切ではなく、英語として不自然さがある。

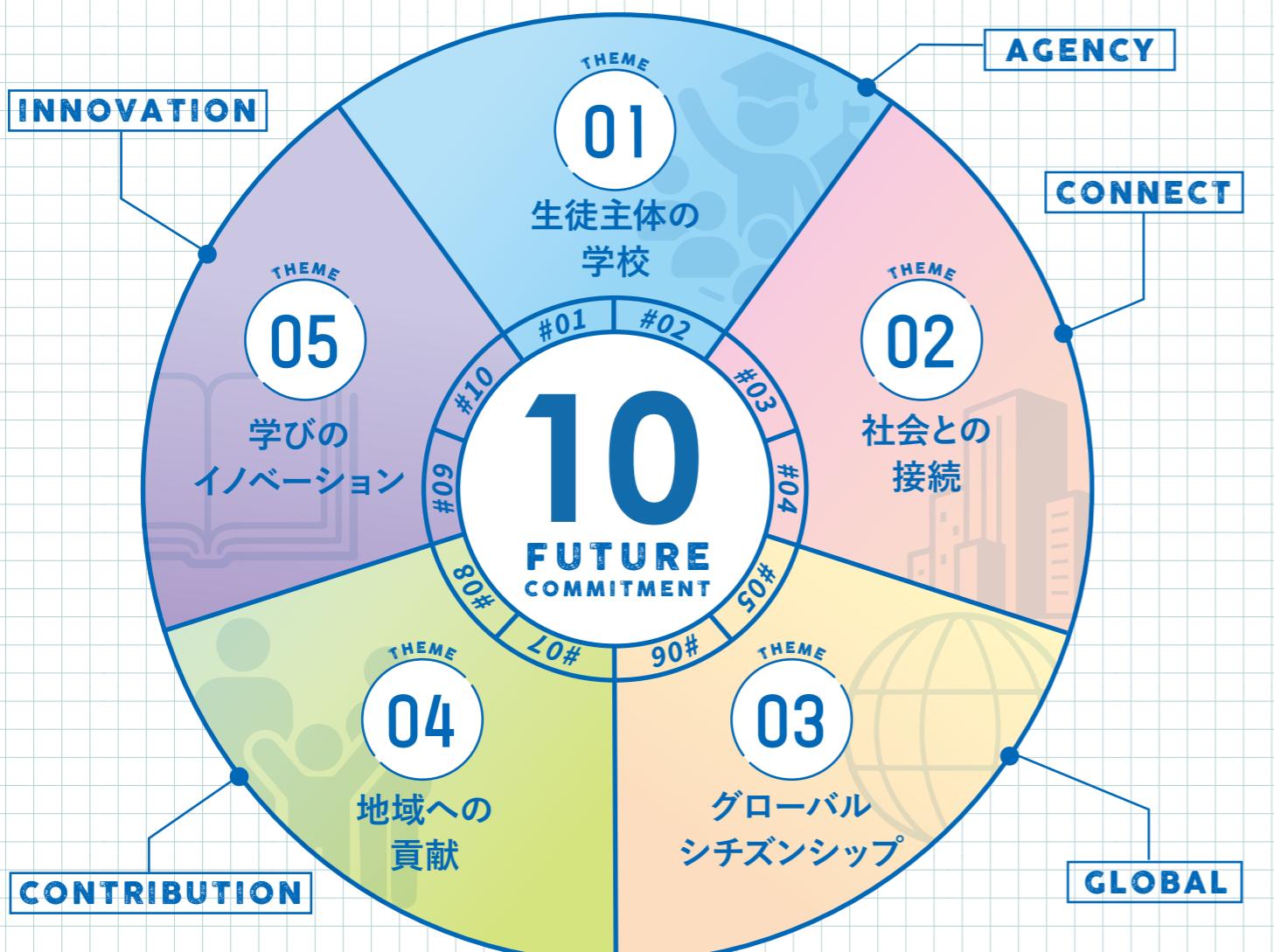
星の杜では定期テストを廃止し、単元テストなどを用いて知識の理解を評価しています。高次スキルについては、独自の「ループリック」を用いて評価しています。これにより、ディスカッションやプレゼンテーション、グループワークなどで学習する「技能」「表現力」「思考力」「判断力」といったパフォーマンスや「興味・関心」「意欲」「態度」といった課題に取り組む姿勢の明確な評価が可能になります。

HOSHINOMORI METHOD

星の杜が
実践する
教育とは？

星の杜中学校・高等学校のスクールミッションは「新たな価値を創造し、社会に貢献する チェンジメーカーの育成」です。本校が今後も、これからの中でも、社会で本当に活躍できる人材を育成する学校であり続けるために、ミッションを達成させるための具体的な取り組みを「10年ビジョン」として掲げています。それが「教育新時代の最前線へ」です。グローバル化がさらに多様化し、テクノロジーが劇的に進化し、社会はさらなるスピードで変化を続けています。そのような時代の中で、学校教育も常に進化し続けなければいけないはずです。星の杜はその教育の新たな時代の最前線を駆け抜けしていく…。ここにまとめた10の宣言は、星の杜の教職員一同の覚悟と決意の証です。

星の杜10年VISION 教育新時代の最前線へ



ACTION #01

- 生徒が自ら思考し、学び合う授業の実践

ACTION #03

- 授業と現実の社会が接続された学びの実践

ACTION #05

- 授業や行事、プロジェクトを通じたグローバル教育の充実化

ACTION #07

- ミッションスクールとして奉仕の精神を育む活動の継続
- 世界で活躍できる力を身につける「星の杜イングリッシュメソッド」の確立

ACTION #09

- 世界で活躍できる力を身につける「星の杜イングリッシュメソッド」の確立
- 高いデジタルリテラシーを身につけるDXプログラムの開発

ACTION #02

- 生徒が学校行事を運営する体制の確立

ACTION #04

- 大学や企業、他校とのプロジェクト型学習の運営体制の確立

ACTION #06

- 多彩な留学や海外大学進学を通じたキャリアの多様化

ACTION #08

- 地域の行事やコミュニティと主体的に連携し、地域課題の解決に寄与する学びの機会を提供

10年VISIONを達成するために

HOSHINOMORI METHOD

星の杜の教育は、社会や身近な課題の解決に必要な力を身につけ、変化の激しい時代の中で活躍するための資質・能力の育成を目指しています。その実現に向けて、教科の授業や探究を中心とした“学習面”=ラーニングクリエイトと、学校生活や行事を通じた“生活面”=ライフクリエイトの両面から、生徒一人ひとりの成長を支援しています。「チェンジメーカーの育成」を実現するため、非認知スキルの育成を柱としたグラデュエーションポリシーに基づき、星の杜独自のカリキュラムポリシーを「星の杜メソッド」として体系化しています。

Learning create

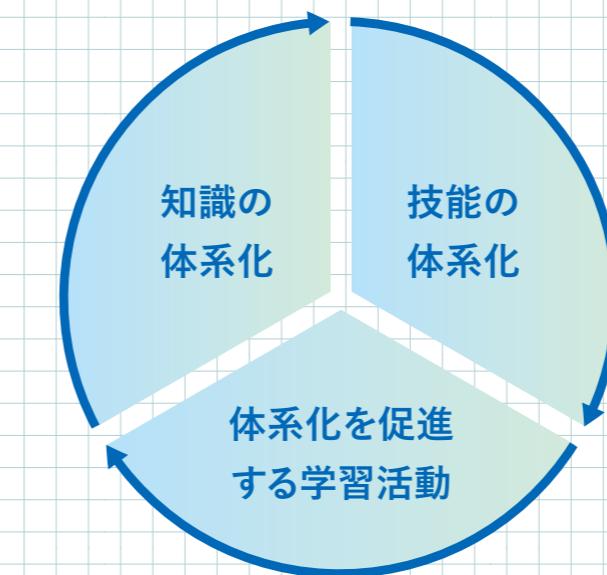
星の杜メソッド・ラーニングクリエイト

「問い合わせ」を起点に、自ら学び、考え、行動し、チェンジメーカーを育成する学習メソッド

Life create

星の杜メソッド・ライフクリエイト

チェンジメーカーに必要な非認知スキルを育成する、星の杜の学校生活が生み出す5つの“つながり”



1. 知識の体系化

- 関連付け・構造化
- 情報活用

2. 技能の体系化

- 技能の分類・技能の統合
- 技能の応用

3. 体系化を促進する学習活動

- 探究活動
- PBL(Project Based Learning)
- ポートフォリオ作成

1. 生徒同士のつながり

- 協働・対話・主体性を育む関係性

2. 生徒と教職員のつながり

- 指導ではなく、支援・伴走へ

3. 地域社会とのつながり

- 教室を越えて社会とつながる

4. グローバル社会とのつながり

- グローバルシチズンへの成長

5. 未来社会とのつながり

- 多様な学びから未来をデザイン

すべては、チェンジメーカーの育成へ

スクールミッション、グラデュエーションポリシー、10年ビジョン、そして日々の学びを支える星の杜メソッド——。それらすべては、生徒一人ひとりが『なりたい自分』を見つけ、社会で活躍するための非認知スキルを身につけることで、チェンジメーカーへと成長していくためにあります。これが星の杜がデザインする、学びのストーリーです。

Graduation Policy >>>>>>>

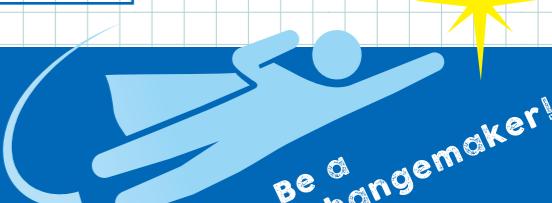
開発力&
創造性

共感力&
協調性

課題発見・
解決力

レジリエンス

メタ認知



星の杜が
考える

宮田 理事 橋本 探究推進
ディレクター

「探究×デジタル」が

星の杜の探究

宮田 早速ですが、星の杜の探究は他校とは何が違うと思いますか。

橋本 星の杜の探究が始まり今年で3年目。技術的なスキルと、実践を通じた体験の両面から知を得る。今年はそのバランスが整ってきたと感じます。さらにアントレプレナーシップ、データサイエンス等、昨年以上にさまざまな授業があります。生徒の中でもそれらの授業がバラバラではなく、『なりたい自分』を軸に全部が枝葉で活かせるものとして結びつく。さらに主要5教科や実技教科も結びついて、一本の軸を通して学びがつながれば、探究は面白くなります。それが今年のテーマであり、本校の強みになると思います。

宮田 私は『ライフ・シフト 人生100年時代における生き方、あり方』を提唱しているリンダ・グラットン氏の本を監修していますが、その中でも探究学習が扱われています。松尾芭蕉は人生を「旅」に例えました。

昭和の歌にも、人生を旅になぞらえたものが数多くあります。私たちは、人生の先を想像できるでしょうか。人生には、さまざまな困難や喜び、予期せぬ出来事が待ち受けています。まだ知らないものごとに出会いながら、人生は続いている。そのような姿を「旅」に重ねたのだと私は感じています。

橋本 そうですね。人生において探究「も」大切で、それは人間の生き方やあり方に対して、さまざまな場面で使えるし、活きると思います。

宮田 監修した本によると、今の高校生の半数は107歳まで生きるという統計があります。生きる時間が長くなれば、ライフイベントも増えていきます。COVID-19などの社会レベルの変動だけではなく、個人レベルの選択の回数も増えてくる。選択を繰り返すことで、人生はよりオリジナルになっていきます。

体験の重要性は昔から言われていたけど、今は多くの選択肢から自分に合う方法を選べる時代。学びながら、体験しながら、考えながら、ディスカッションしながら、といった学びがすべて複合的にあることが大事だと思います。

橋本 今はZoomで会話し、YouTubeで勉強もできる。時代の変化が起きたことと同時に、ツールの変化も起きていて、それが現代的になっていると思います。

探究学習が重要性を増しているのは、そのような変化により学校教育でも「考え方」や「自分のあり方」が重視されるようになったという背景があります。

デジタルという“ツール”

木村 星の杜の探究は、デジタルというツールの捉え方が違います。例えば金槌なら釘を打つ、のこぎりなら木を切るというように、道具は本来目的が一つ。

しかし、デジタルのツールという

捉え方は、使う人によって活用の幅が多方面に広がったり縮んだりします。本校ではデザイン思考を取り入れ、実践の中で子どもたちの思考を広げたり縮めたりします。そして、将来に向けて自分はこうなりたい!という主体性につなげていく点が、他校とは違うと思っています。

宮田 生成AIが注目されていますが、体験は大切。AIは体験できないので、これからは一次情報がより重要視されると思います。今求められている「新しい学び」とは、何だと思いますか。

橋本 今はZoomで会話し、YouTubeで勉強もできる。時代の変化が起きたことと同時に、ツールの変化も起きていて、それが現代的になっていると思います。

探究学習が重要性を増しているのは、そのような変化により学校教育でも「考え方」や「自分のあり方」が重視されるようになったという背景があります。

木村 今年の本校のデジタルのテーマは「伝える、そして広げる」。これからの学びは、伝えるだけではダメで、広げていく手段や手法も考えいく必要があります。それが情報なら、さらに責任も伴います。伝えるという点に関して言うと、本校では自己を表現するプレゼンテーションを重視しています。

プレゼンテーションは人の心を動かし、感動させる。聞き手の主体性

木村 DX推進
ディレクター

生み出す学びの価値

やモチベーションを引き出します。いかに相手に動いてもらえるようになるのか、アントレプレナーシップにもつながってきます。

学びの可能性

宮田 では、お二人は探究とデジタルを掛け合わせることで、どんな学びの可能性があると考えますか。

木村 まずは、プロトタイプを子どもたちが自由に作り出せる。そして、世の中に広げていけること。それが探究とデジタルを組み合わせる意義だと思います。さらに、そのプロトタイプを他者がどう受け取るのかを調査し、フィードバックを受け、リフレクションもする。

ユーザー視点から入っていくプロセスにも、探究とデジタルを掛け合わせて学ぶ意義を感じています。

橋本 価値を創造するという意味で考えるなら、今の木村先生の話がベースです。その上で、ツールじゃない部分が一番大事になってきます。「なぜあなたがその問題に取り組むのか?」「目の前の相手が一番困っていることは何なのか?」「どれだけ必死にその問題を解決しようとしているのか?」といった、いわゆる探究のコアにな

る部分がないと、ツールを使っても価値は生み出せない。

そこが掛け合わせたら、DXの本質的な意味での『価値創造』につながると思っています。

Well-beingな存在に

宮田 最後の質問ですが、星の杜を卒業する時、または卒業して10年後どんな人物になっていてほしいですか。

橋本 その人がいるだけで場が明るくなる、機嫌が良くなる。そんなWell-beingな人の存在は、行動以上に大きな影響を与えると思います。星の杜を卒業した人々は、いるだけで違う。それは自己肯定感かもしれないし、挫折を味わったことによる他者の受け入れかもしれない。Well-beingオーラみたいなものが滲み出る人が増えたら、世の中良くなるんじゃないかなって思っています。

木村 卒業した子どもたちが、自分の描いた幸せな人生を切り拓いていく。そのためのスキルを身につけるのがこの学校だと思います。

幸せは個人によって違うので、自分なりの幸せを思い描き、そのため何をすべきか。家族や友人、まわりの人たちを巻き込みながら、社会で活躍する人材になってくれればと思います。



学校法人 宇都宮海星学園
理事
宮田 純也

1991年生まれ。早稲田大学高等学院、早稲田大学教育学部 教育学科 教育学専攻 教育学専修卒業、早稲田大学大学院教育学研究科修了(教育学修士)。大手広告会社などを経て独立後、日本最大級の教育イベント「未来の先生フォーラム」と「株式会社未来の学校教育」の創設、約2億7千万円の奨学金の創設、通信制高校の設立に関わるなど、プロデューサーとして教育に関するさまざまな企画や新規事業を実施。2024年には「未来の先生フォーラム」と「株式会社未来の学校教育」を朝日新聞社に参画させ、子会社社長を務めた。現在はこれまでの実績をもとに一般社団法人未来の先生フォーラム代表理事、学校法人宇都宮海星学園理事、横浜市立大学特任准教授などさまざまな立場や役割で教育改革を推進している。単著に『教育ビジネス』(クロスマディア・パブリッシング)、編著に『SCHOOL SHIFT』『SCHOOL SHIFT2』(明治図書出版)、監修に『16歳からのライフ・シフト』(リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著:東洋経済新報社)。



探究推進ディレクター 橋本 隆宏

宥坐(ゆうざ)代表。1996年生まれ。宇都宮市出身。宇都宮高校から東京大学農学部、まちづくりの仕事を経て、大学在学中にデータ活用を中心とした農業経営支援の会社を設立。2025年からは会社を離れ、一農家に転身して自ら有機農業を実践中。2023年より探究推進ディレクターとして星の杜高校に関わる。趣味で自家焙煎珈琲屋も経営している。

Strong Point

星の杜 教育の 強み 01

グローバル教育

星の杜の英語教育の目標は、生徒が単なる知識の習得にとどまらず、英語というスキルを活用して「なりたい自分」を思い描き、それを実現する力を身につけることです。そのため、英語学習を通して主体的に考え、学び続ける姿勢を育て、自律型学習者としての成長を促すメソッドを用意しています。

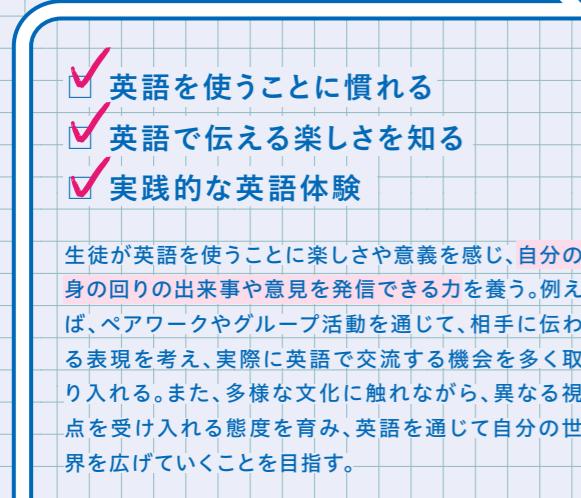
中学 の英語

英語を
自分の考え方を伝え

他者とつながり

世界を広げるためのツール

と位置づける。



- ✓ 英語を使うことに慣れる
- ✓ 英語で伝える楽しさを知る
- ✓ 実践的な英語体験

生徒が英語を使うことに楽しさや意義を感じ、自分の身の回りの出来事や意見を発信できる力を養う。例えば、ペアワークやグループ活動を通じて、相手に伝わる表現を考え、実際に英語で交流する機会を多く取り入れる。また、多様な文化に触れながら、異なる視点を受け入れる態度を育み、英語を通じて自分の世界を広げていくことを目指す。

- ✓ 世界とつながる表現力を身につける
- ✓ 探究的な学び×英語
- ✓ 実社会に活かす英語力の習得

社会課題やグローバルなトピックをテーマにしたディスカッションやプレゼンテーションを取り入れ、自分の意見を論理的に表現する力を養う。さらに、英語を使って国際的な視野を広げ、将来の進路やキャリアに役立てることができるようになる。

生徒一人ひとりが、英語を通じて世界とつながる実感を得られるような学習環境を整える。

高校 の英語

英語を
自分の考え方を伝え
世界とつながり、よりよい
未来を創るためにツール
として活用できるようにする。

実践を重視した授業

従来の一方的に教える授業ではなく、ディスカッションやディベート、グループワークを多く取り入れています。生徒が英語を話す活動を主体としたコミュニケーションの機会の多さが特徴です。また、生徒の幅広いレベルに合わせ、授業は「ベーシックコース」「アドバンストコース」の2つに分かれています。



POINT

レベルに合わせて選択できる2コースのクラス



ベーシックコース

英語を基礎から丁寧に学んでいきたいという生徒向けのクラス。実際に使える英語力を身につけることを目標とします。



アドバンストコース

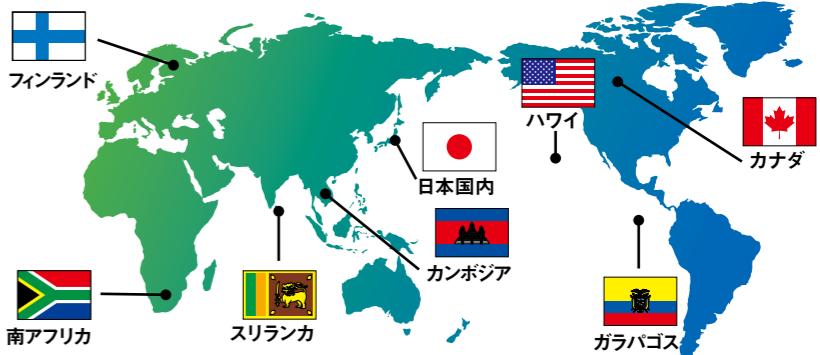
より高いレベルで英語を学びたい生徒向けのクラス。ネイティブの先生によるオールイングリッシュの授業を展開しています。

全世界探究

ディープラーニングコースでは、選択制による海外・国内のスタディツアーや、高校卒業までに在籍生徒全員が英語をマスターすることはもちろん、異国に身を置き、さまざまな人々との交流を通じて異文化理解・多文化共生を体感することで、世界で活躍するために必要な素養を育成します。

【期間】5~8日間程度

【地域】カナダ/ハワイ/フィンランド/カンボジア/スリランカ/南アフリカ/ガラバゴス/日本国内



グローバルラーニングコース（全員参加）

留学プログラム

実践的な英語教育の一環として、多様な留学プログラムを用意しています。高校2年次にグローバルラーニングコースを選択すると、10月から世界10都市の語学学校へ留学する「全世界留学」に全員が出発。「中長期留学」に参加する場合は、高校1年次の3学期に出発します。



全国でもトップクラスの留学参加実績

○高校生が海外留学に行く割合

栃木県/0.98% 東京都/2.14%

星の杜 なんと... **41.9%** (2024年度入学生)



星の杜では最短で4週間、最長で1年間の留学に参加が可能。行き先も期間も自ら決めて、一人で旅立つ。それが星の杜の留学です。英語力やコミュニケーション力だけではなく、留学先でしか体験できない、たくさんの経験を通じて「グローバルシチズン」の第一歩を踏み出します。

全世界留学（語学学校）

【期間】4週間、8週間、12週間 【地域】ニューヨーク/ボストン/サンディエゴ/バンクーバー/ホノルル/オックスフォード/セントジュリアン/シドニー/オークランド/セブ

中長期留学（現地校）

【期間】6ヶ月、1年間 【国】カナダ/アメリカ/オーストラリア/ニュージーランド

海外大学進学

星の杜での学びを世界へ繋げるため、海外大学への進学も応援します。奨学金制度を活用し、学費負担を軽減したい生徒や、英語力に不安がある生徒など、一人ひとりをサポートします。

世界36大学に指定校推薦での進学が可能

マン彻スター大学(イギリス)、リーズ大学(イギリス)、アリゾナ州立大学(アメリカ)、サイモン・フレイザー大学(カナダ)、オークランド大学(ニュージーランド)、オタゴ大学(ニュージーランド)、西オーストラリア大学(オーストラリア)、アデレード大学(オーストラリア)…計36大学

3 Philippines Cebu



中学2年
蓮見 悠妃さん
(下野市立古山小学校 出身)



Friendship

A1

私は小さい頃から外国の文化に興味があって、今も英語を勉強しています。勉強をしていく中で、留学に興味を持ちました。そして、できるだけ早く留学を経験してみたいと考えていました。今回は、英語力を少しでも上げることと、その国の文化を知るために留学に参加してみようと思いました。

A2

セブでは、平日は勉強をして、休日はショッピングモールに出かけたり、現地でできた友達と話をしたりします。授業は話し合いの場がたくさんあり、さまざまな国籍の人とコミュニケーションをたくさん取ります。学校の人たちはとても親切で、話しかけてくれる人が多いと感じました。慣れない環境で、大変なこともありますが、自分から行動を起こすことが好きになりました。

A3

今回は短期留学だったので、学べることがまだあります。そのため、長期留学に挑戦して、英語力を上げたいと思っています。



1 New Zealand Auckland



高校2年
小川 美羽さん
(矢板市立岡中学校 出身)



5 New Zealand Auckland

高校2年
八重樫 瞳さん
(小山市立小山第三中学校 出身)



4 Canada Delta

高校2年
屋代 冬青さん
(那須烏山市立南那須中学校 出身)



A1 新しい経験をしたいという思いから留学を決意しました。英語力の向上も目標の一つですが、知らない環境に飛び込むこと自体が大きな意味を持つと考えました。たとえ将来に直接結びつかなくても、この挑戦は無駄にはならないと思います。また、日本を外から客観的に見つめ直すことで、新たな気づきが得られるのではないかと考えたことも理由の一つです。

A2 授業はすべて英語で行われるため、内容を理解するのが難しく、特に翻訳機が使えないテストには苦労しています。クラスメイトとの雑談でも、スラングや会話の速さについていけないことがあります。一方で、ホストファミリーがいろいろな場所に連れて行ってくれるので、週末は楽しく過ごせています。近所のスーパーへ一緒に買い物に行ったり、飼い犬と遊んだりする時間が、今のささやかな楽しみです。

A3

留学を通して、できないことがあっても意外と何とかなることを実感しました。うまくいかないことも、完璧を求めるすぎずに入り受け入れる柔軟さが、自分らしく生きる力につながるのだと思います。また、日本にいる時よりも自由なファッションや、自分の考えをはっきり伝える人が多く、「自分らしさを持つこと」や「それを表に出すこと」の大切さにも気づきました。もっと自分のことを深く理解し、自信を持って生きられる人になりたいと感じています。今のところ海外と関わる仕事をする予定はありませんが、どんな仕事に就いたとしても、この経験で得た学びを活かして、自分の価値観を大切にできる生き方をしていきたいです。



A1

私は海外でさまざまな経験をしたいと思い留学に参加しました。参加した一番の理由は英語力を高めるためです。現地校に通い、ホストファミリーとの会話など英語に触れる機会を増やしたいと思いました。また、日本とは違う海外の文化や価値観に触れて視野を広げたかったからです。海外の人と関わることでさまざまな意見や考えを取り入れることができ、将来に活かせると思いました。

A2

現地ではボランティアや学校のアクティビティなどに参加しています。大変なことは、英語力です。学校の授業では難しい言葉もたくさん使われる所以理解に苦しむことがあります。授業中にスマートフォンを使うことはできないので、分からることは家に帰って翻訳機などを使って理解しています。しかし、大変なことばかりではなく楽しいこともたくさんあります。放課後に友達と話したり、スターバックスに行ったり、週末に友達やホストファミリーと出かけたりしています。

A3

留学を経験して、英語力を伸ばし、英語を活かした仕事につきたいです。あとは、いつか世界一周したいです。



Family

星の杜生の 海外留学 REPORT

星の杜から留学に行く生徒はなんと、一学年の4割以上! 留学中のみんなに、ドキドキの海外生活について聞いてみました。

Q1 なぜ留学に参加しようと思いまし
たか?

Q2 現地で取り組んでいることや楽し
んでいることを教えてください!

Q3 留学を経験して、"こんなふ
うになりたい" "チャレンジし
たい" と思っていることを教
えてください!



A1

小さい頃から英語を習っていて、自然と英語に触れる時間が多かったです。中学では英語が一番で、自信がついてさらに好きになりました。海外の人の考え方や自由なマインドが好きで、自分もそんな風に生きてみたいと思いました。また、SNSで活躍するKEMIOさんが、英語を使って海外で自分らしく生きている姿にも影響を受けました。将来的夢が見つからない中、日本を離れて新しい価値観に触れ、自分のやりたいを見つけてみたいという思いから留学を決めました。

A3

留学を通して、英語を流暢に話せるようになって、将来は英語を使った仕事をしたいです。周りの目を気にせず、自分らしく生きることができる強さがほしいですし、自分の意見をちゃんと持て、人に流されずに動ける人になりたいです。恥ずかしがり屋な自分を変えて、もっと堂々としていたいです。怖いものも恐れずに、新しいことにはどんどん挑戦していきたいです。何かをすぐ諦めるのではなく、継続して自立した生活もできるようになれるらしいと思っています。やりたいと思ったことは迷わず挑戦していきたいです。



2 Canada Burnaby

高校2年
矢口 るりさん
(那須塩原市立西那須野中学校 出身)



Enjoy

最初は英語が全く聞き取れず、話すことでも自信がありませんでした。すぐに人に對してオーバンになるのは難しくて、コミュニケーションの壁を感じました。周りに日本人もいて、なんとなく会話が成立してしまうこともあり、安心もするけど、そこに頼りすぎてる気がして、もっと頑張らなきゃと感じています。ネイティブと話すのはまだ緊張しますが、私と同じ留学生と積極的に話したり、分からない単語をすぐ調べたりして、できるところから少しづつ取り組んでいます。また、休日や放課後は、友達とご飯を食べたり、お話ししたりして楽しいです。学校には海外ならではのイベントもあって、文化や日本との違いを感じて面白いです。



Strong Point

星の杜 教育の 強み 02

5つの非認知スキルを身につける!専門家による3年間の探究学習

超探究宣言

チェンジメーカーになるために必要な5つのチカラを育む探究学習を実践。多様で特色ある学びを週に3時間展開します。各授業は星の杜のディレクターや大学教授など、専門分野の第一人者が担当。教科の枠を超えて、これからの社会に求められる幅広い知識・スキル・マインドを育み、生徒一人ひとりの個性と可能性を最大限に引き出す、それが星の杜の「超」探究です。

高1の探究

自分の興味・関心と社会課題をつなげることで「問い合わせ」立て、専門的な知識や高い思考力を身につけながら、未来に向けた提案ができるようになる。

- CORE探究I
- データサイエンス
- リベラルアーツ
- 星の杜ゼミナール
- 宗教I

高2の探究

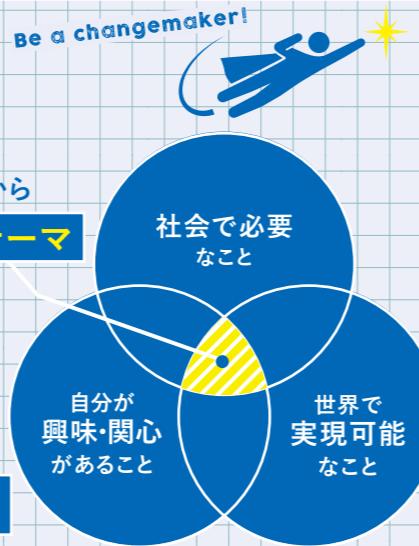
自分の価値観や身の回りの違和感から問い合わせ立て、社会へのアクションを通じて、自己のあり方と社会への貢献を考えられるようになる。

- CORE探究II
- アントレプレナーシップ
- 宗教II

高3の探究

これまでに育んだ問い合わせや価値観をもとに、自分の生き方や社会との関わりを言葉と行動で表現し、未来を主体的に描けるようになる。

- CORE探究III
- ライフデザイン



探究テーマをどう決めるのか?

中
学

世界
を知る
自分
を知る
未来
を知る

高
校

探究を通じて
問題を解決

授業を担当する専門家

探究推進ディレクター
橋本 隆宏



座右の星。1996年生まれ、宇都宮出身。東大在学中に農業経営支援会社を設立。2025年に農家に転身。2023年から本校で探究推進ディレクターも務める。

リベラルアーツディレクター
松田 貴盛



株式会社エブリオングループ代表取締役。カリフォルニア州立大卒。2010年に「英語進学塾リオ」開校。記憶術と哲学・心理学を活かし1万人超を合格へ導く。

宗教科・探究科
グネ 宏美・高野 友喜



カトリック校として宗教の信仰を促すためではなく、建学の精神を深く学ぶための専門部署として「宗教科」と、幅広く探究的な学びを推進するための「探究科」が設置されている。

各連携大学
担当講師



星の杜ゼミナールでは、連携協定を締結している特色ある各大学の教授や専門家を招き、生徒の関心に寄り添った専門的な授業を継続して展開していく。



星の杜の超探究って?
探究科リーダー 三浦 学

探究学習では特に、「先生が教える」のではなく、「生徒自身が気づいたこと・考えたことをまとめる」ことを重要視しています。探究学習を通して、自ら問い合わせ立てて考える力を身につけることで、各教科の学習でも、自分との関わりを意識しながらより深めることができます。

カリキュラム

CORE探究

全学年

講師:橋本 隆宏

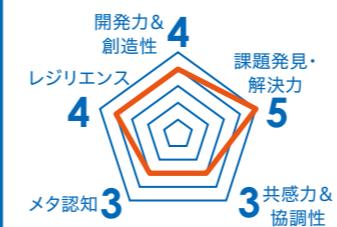


自己の内面や社会とのつながりを起点に、自らの価値観と社会課題を結びつなげながら、未来を構想し、行動する力を育む、3年間の探究のコアとなる学び。チェンジメーカーとして、「なりたい自分」を実現していく。

データサイエンス

1年次

講師:橋本 隆宏

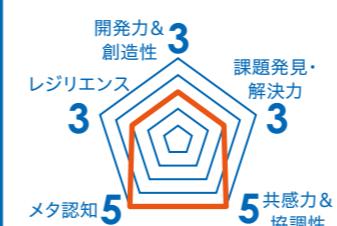


身近な課題をデータで見直し、未来を考える実践探究。調査・分析・提案を通じ、伝える力を育みながら、社会と接続していく。

リベラルアーツ

1年次

講師:松田 貴盛

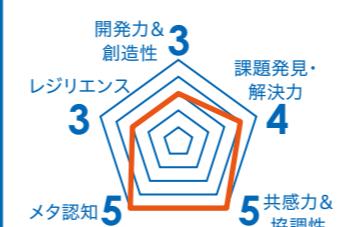


自分を多様な世界へ開き、より良い自分と社会を目指す幅広い学問。さまざまな考え方を理解、受容し自らの興味・関心を広げていく。

宗教

1・2年次

講師:宗教科・探究科



カトリックの教えに基づき、社会の倫理観と自己の価値観を見つめ直し、「この世界にどう関わるか」を考える実践学習。多様な視点と行動を通じ、持続可能な社会を担う自己を描く。

Point チェンジメーカーの育成

世界を尊重し、尊重される輪郭
で、自分を重視する輪郭

グローバル教育

探究学習

デジタル教育

自ら課題を見出し、解決できる能力

論理的に思考し、開発・創造する能力

グローバル教育

探究学習

デジタル教育

“CORE”って?

教科の授業や学校行事、学校生活、そして「超」探究の核(コア)となる授業。COREの頭文字は、C=Curiosity(好奇心)、O=Open-mindedness(多様な視点)、R=Reflection(自己理解)、E=Engagement(社会との関わり)を表現しており、「好奇心を起点に多様な他者や社会とつながり、自己理解を深めながら、行動につなげていく」ことを目的としている。

星の杜ゼミナール

1年次

講師:各連携大学担当講師



星の杜高校が連携協定を結ぶ大学の専門家による特別授業を提供。生徒の関心に応じた内容で、大学の強みを活かしながら、専門性・創造力・探究心を育む。

アントレプレナーシップ

2年次

講師:橋本 隆宏



身近な違和感を問い合わせに変え、社会への小さなアクションを形にする探究型プログラム。起業に限らず、自分の価値で世界とつながる力や、仮説検証・対話を通じて行動する力を育む。

探究発表会 REPORT



〈参加校と発表タイトル〉

- (発表順)
- 黒磯高校「丸サ進行のエモさとは」
 - 星の杜高校(布瀬さん)「なぜ歴史を学ぶのか」
 - 栃木高校「栃木県内の多言語表示の実態」
 - 真岡北陵高校「ローカルとグローバルの視点で実践するESD活動～ユネスコスクール・キャンディデート校 真岡北陵高校の挑戦～」
 - 真岡高校「真岡高校新築計画」
 - 栃木女子高校「アカアポニックスを用いて農業に触れよう」
 - 幸福の科学学園高校「絵本の魅力」
 - 星の杜高校(久野さん)
「日光市をより学生が活躍できるまちへ!」
 - 宇都宮北高校「飢餓をゼロに」

〈審査員〉

- 合同会社未来教育デザイン 代表 平井 聰一郎 氏
- 上智大学 理工学部物質生命理工学科 教授 神澤 信行 氏
- 宇都宮大学 地域創成推進機構 教授 佐々木 英和 氏
- ベネッセ教育総合研究所 研究員 田邊 心技 氏
- 株式会社リクルート まなび教育支援Division 鈴木 智之 氏



プレゼンだけではなく、審査員からのフィードバックに対する議論も見どころ!

2025年3月、宇都宮市文化会館にて公立・私立の垣根を越えて県内8つの高校が集結し、各校の代表生徒による日頃の探究学習の成果発表会を開催しました。栃木県全体の探究がもっと盛り上がってほしいと願いを込めて、星の杜が主催となり開催!

●開催のねらい

- 01 大学教授や専門家や知見のある第一人者の方から高いレベルのフィードバックをもらうことでさらに学びを深める。
- 02 同年代の生徒同士の取り組みを知ることで視野を広げ、刺激し合う。
- 03 学校の外へ飛び出して発表をすることでモチベーションを高めて、今後の取り組みに繋げる。

●受賞結果



舞台を降りれば、発表者同士が自然に交流や意見交換をしている姿はとても印象的でした!



「日光市をより学生が活躍できるまちへ!」

星の杜高校
1年 久野 美恋彩さん

彼女は人口減少が進む地元の日光市をなんとしても盛り上げたい。そのため学んだことを活かし、日光市役所へ提案のチャレンジをするも失敗…ですが、彼女はその失敗も経験として、自分が住みたいと思うまちづくりに挑戦しています。その姿勢や自分ゴトのテーマ、実際に周りを巻き込み行動している実績と、さらに圧倒的なプレゼン力が評価され、最優秀賞を受賞しました!!!

幸福の科学学園
高校

黒磯高校

未来の創造賞 グッドパフォーマンス賞 特別賞
～まだ、ここにない、気づき～

3部門受賞 星の杜高校 久野 美恋彩さん

校内発表会を開催しました

星の杜では中学校1年生から高校3年生まで全員が探究に取り組みます。1年間かけて自分が取り組んだ探究の成果をスライドやポスターにまとめて、全生徒が発表し、お互いにフィードバックをしあうことで、さらに探究を深め、学びを広げていきます。



TOPICS 2

第10回 高校生国際シンポジウム 優秀賞 受賞!

一般社団法人Glocal Academyが主催、全国の高校生が日頃の探究活動や研究成果を発表するコンテストイベント。

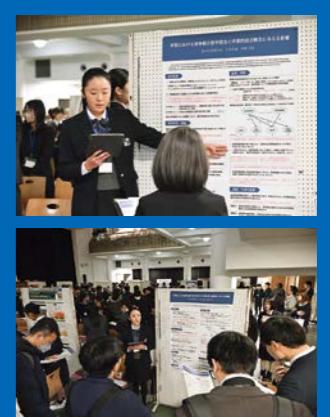
32都道府県とさらに海外、学校数は112校から計402のエントリーがあった中で、高校3年生 伊藤 千桜さんがポスター部門「人文科学・教育分野」にて、2位にあたる優秀賞を受賞。

研究タイトルは「学習における競争観が数学的信念と学業的自己概念に与える影響」。

惜しくも最優秀賞には届かなかったものの、当日は彼女の日頃の研究の成果を堂々と想いをのせて伝えてくれていました!

✓ 高校生国際シンポジウム WEBサイト

<https://www.glocal-academy.or.jp/symposium>



Strong Point

星の杜 教育の 強み 03

星の杜が目指すデジタル教育の羅針盤

デジタル

リテラシー

AIやSNS、動画、プログラミング。私たちは今、かつてないほど多くの技術と共に生きています。だからこそ、星の杜では「どう使うか」だけでなく「どう活かすか」を重視。ツールの操作にとどまらず、著作権や発信のモラルといった情報社会での姿勢から、課題解決に向けた実践的な取り組みまでを学び、“社会をより良くするためのデジタルリテラシー”を育みます。

各教科・探究活動 でのICT活用

各教科や探究活動でデジタルツールを積極的に活用し、生徒の主体的な学びを促進します。

活用

日常の学びの中での
デジタルツールの活用

個別最適化学習 でのICT活用

デジタルツールで生徒一人ひとりの学習状況を把握し、個別に最適な学びを提供。また、オンライン学習コンテンツやデジタル教材を活用し、生徒の興味や関心に基づいた多様な学びの機会を提供します。

家庭との連携

学校のデジタルリテラシー教育の内容や、家庭でのインターネット利用に関する注意点を保護者に提供します。家庭と連携し、生徒のデジタルリテラシー向上に向けた共通理解を深めます。

環境

デジタル教育を加速する
最適な環境づくり

教職員のICT 指導力向上

教職員向けの研修を充実させ、ICT活用能力の向上を図ります。教職員間でICT活用の成功事例や課題を共有し、効果的な指導方法を模索します。

創造スキル の育成

プログラミング、デザイン、動画制作などを通じて、表現力や問題解決能力を高めます。

実践

考え、表現するスキルを
実践で身につける

情報収集・整理 スキルの育成

デジタルツールを用いて、情報を効果的に収集・整理・分析・評価・表現する力を育成します。

デジタル倫理観 の育成

インターネット上の倫理、著作権、プライバシー、セキュリティについて学び、責任ある行動を育成します。

思考

ツールの使い方ではなく
“あり方”を学ぶ

社会貢献意識 の育成

デジタル技術を使い、社会に貢献する意欲を育成します。



星の杜のデジタル教育って?

DX推進ディレクター 木村 浩之

デジタルスキルの習得にとどまらず、教科学習や語学、探究活動とデジタルを結びつけた実践的な学びを展開しています。高い情報リテラシーや論理的な思考力、豊かな創造力を段階的に育て、生徒がデジタルを武器に未来を切り拓く力を養います。

デジタルリテラシーを育成する授業



中学校／技術

技術では、情報化社会に対応できるよう、ICTに関する知識と活用能力を育成します。プログラミングやWebサイト制作を通して、論理的思考力や創造性を育むとともに、情報モラルや情報セキュリティについても学びます。また、3Dプリンターやレーザーカッターなどのデジタルツールを活用し、ものづくりを通して問題解決能力を育成します。



中学校2・3年生 エンジニアコース

エンジニアコースでは、プログラミングの基礎からWebサイト制作、アプリ開発まで、デジタル技術を幅広く学びます。チーム開発を通して、コミュニケーション能力や協調性を育むとともに、VR/ARなどの最新技術にも触れ、社会実装を見据えた学びを展開します。



高校1年／情報I

情報Iでは、社会の情報化について理解を深め、問題解決のための情報活用能力を育成します。情報倫理や情報セキュリティを学ぶとともに、プログラミングやデータ分析などの情報技術を習得し、情報社会に主体的に参画するための基礎を養います。



高校2年(コース選択制) LSS「AIフロンティア」

AIフロンティアでは、AI技術の基礎から応用までを学び、社会実装できる人材を育成します。AI倫理やプログラミング、データ分析を学ぶとともに、動画制作やアプリ制作を通して創造性を育みます。アントレプレナーシップも育成し、社会に貢献できる力を養います。

DXハイスクール採択校

デジタルスキル育成に 最適な環境を整備

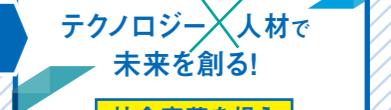
高等学校DX加速化推進事業 DXハイスクール

文部科学省からの 支援金

高等学校等デジタル人材
育成支援事業費補助金

最大1,000万円

(2年目は500万円)



NEXT 2025年度、校内に「デジタルラボ」
を新設予定!!

Innovative Learning 01 大学との連携協定

星の杜ならではの6つの高大連携プログラム

星の杜では、「上智大学」「情報経営イノベーション専門職大学(iU)」「さとのば大学」を始めとする特色ある大学と連携することで、実社会で活躍できるスキルを身につけます。また、多彩な学問に出会いことで生徒の視野や進路の可能性を広げていきます。

大学
01



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

教職員・学生・生徒の交流や連携を通じて、多様で充実した学習機会を提供

上智大学と星の杜高等学校は、相互の教職員・学生・生徒における交流や連携を通じて、互いがより魅力ある大学・高等学校づくりを推進することを目的とする高大連携協定を2023年に締結しています。

ABOUT

上智大学は1913年にカトリックのイエズス会によって設立され、教育精神に“*For Others, With Others*（他者のために、他者とともに）”を掲げ、開学以来、人間の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、国際社会の発展に寄与するリーダーの育成に取り組んできました。「叡智（ソフィア）が世界をつなぐ」をミッションとし、地球規模の課題に挑戦するリーダーの育成を重視しています。



締結した主な内容



有益な情報提供や学習機会の提供

両校で大学や入試に関する説明会、講演会、模擬講義などを実施します。



教職員同士の情報交換による教育レベルの向上

教職員同士の情報交換を促進し、教育におけるノウハウや最新の動向を共有します。



実践的な学びと協働の機会の提供

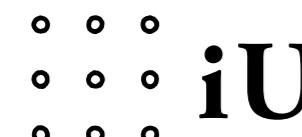
上智大学の学生と星の杜高等学校の生徒が参加する探究型プロジェクトを通じて、実践的な学びと協働の機会を提供し、双方の学習環境を豊かにします。



分野を超えた幅広い学びの促進

SGED (Sophia Global Education and Discovery) や公開講座を活用し、高校生向けのスタディツアーや理工系体験学習を含む短期サマープログラムを実施し、実践的な学びを促進します。

大学
02



情報経営
イノベーション
専門職大学(iU)

これからの時代を創る 「イノベーター」についての 理解を深める講座を開講

iUが掲げる「ICTを活用し、さまざまな課題をグローバルな視点を持って解決する、新たな商品・サービスを生み出す人材」を育成する教育を、星の杜高等学校が目指す「新たな価値を創造し社会に貢献する、エンジニアの育成」へと活かしていきます。

ABOUT

iUは産業界と連携しながら、世の中にイノベーションを起こす人材の育成を目指す専門職大学です。



締結した主な内容

- iU教員派遣による探究の授業を実施
- iUの授業や講演に星の杜の生徒もオンライン参加
- オンラインワークショップの共催
- 星の杜の教職員のためのiU教員による特別支援

PICK UP CLASS 「イノベーションプロジェクト」

起業するために必要な知識・スキルを学びながら、ビジネスプランとしてまとめ上げ、発表するアクティブラーニング形式の授業。インプットだけではなく、アウトプットの経験も積み重ね「ビジネス」「ICT」「グローバル」の学びを掛け合わせて、自分が考えたアイデアを実現していきます。

大学
03



地域における社会課題を解決する 実践的な学びの機会を提供

さとのば大学が掲げる地域における社会課題の解決プロジェクトは、星の杜が目指すエンジニアの育成にとって必要な資質・能力を養うために、地域での実践的な学びの機会となります。また、さとのば大学が運営する「さとのばの場」では日本全国の探究学習に力を注ぐ学校が集まり、探究学習で学んだ自分のプロジェクトをさらに深めるための実践の機会として取り組んでいく予定です。

ABOUT

さとのば大学とは、キャンパスを持たずに全国の地域を1年ごとにめぐり「暮らしながら学ぶ」大学です。



さとのば大学のメソッド

地域を
1年ごとにめぐり
「暮らしながら」学ぶ

たまに訪れるのではなく、4年間で4つの地域に「暮らしながら」、地域とのつながりや人とのつながりを実感します。

講義部分はオンライン
「好きな場所で」学ぶ

みんなで一か所に集まって講義を受けるのではなく、日本全国「好きな場所で」学びます。

地域で
プロジェクトをつくり
「やってみて」学ぶ

机の上で学ぶのではなく、地域の人と一緒にプロジェクトを「やってみて」学びます。

地域の人や
大学側とも学び合い
「変わり続けて」学ぶ

学びを与えるのではなく、常に他地域の仲間と切磋琢磨し、大学側も含めて「変わり続けて」学びます。

大学
04



フェリス女学院大学

教育活動における連携・交流をより一層強化し、生徒および学生の成長や資質向上、教育内容の充実および教育活動の活性化を推進していきます。

ABOUT

フェリス女学院大学は、日本で最も古い近代的女子教育機関です。教育理念に「*For Others*」を掲げ、自分や近しい人だけではなく、より広い視野から他者の存在を考えに入れ、他者のため行動することを大学で学ぶ一人ひとりが受け継いでいます。



大学
05



聖心女子大学

共通するカトリック教育理念のもとを行った相互の交流・連携をさらに深めることを目的とし、出張講義や大学説明会等の機会を通じて教育・研究および社会貢献等の分野での協力、それぞれにおける教育の活性化により、学生・生徒の一層の成長を促していきます。

ABOUT

聖心女子大学は、1948年に設立。カトリックの精神に基づいた教育を行っており、リベラルアーツ教育を重視し、少人数制の授業や国際交流プログラムが充実しているのが特徴で、文学部のみを設置し、英語、教育、心理、哲学、史学など幅広い分野を学べます。



大学
06

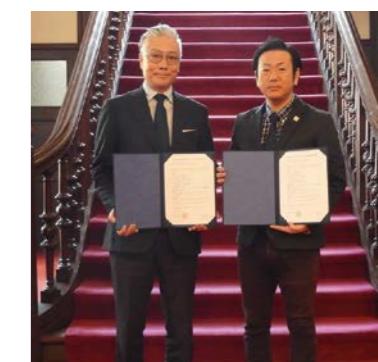


清泉女子大学
Seisen University

教育活動における連携・交流をより一層強化し、生徒および学生の成長や資質向上、教育内容の充実および教育活動の活性化を推進していきます。

ABOUT

清泉女子大学の建学の精神は、キリスト教ヒューマニズムにあり、「まことの知・まことの愛 (VERITAS et CARITAS)」の追究をモットーとしています。少人数教育による人格的触れ合いを通して、自分で考え、判断し、決断することのできる女性を育成しています。



Innovative Learning 02 ハイスクールコンソーシアム

学校の垣根を越えた学び合い

2023年9月、全国の特色ある教育に取り組む私立高校とともにハイスクールコンソーシアムを立ち上げました。学校の垣根を越え、さまざまな生徒と出会い・学び合う機会を創出することで、生徒一人ひとりの学びの可能性を広げます。

全国の21世紀型教育推進校と創る学びの共同体

ハイスクールコンソーシアム

各地で特色ある教育に取り組んでいる学校同士が協働することによって、異なる学校の生徒同士が出会い、学び合える機会を数多く創出し、限られた高校生活の中での学びの可能性を広げます。さらに、これらの活動を通して日本の学校教育を変革していくことも本コンソーシアムの目的としています。



生徒同士の学び合い
生徒同士が授業や学校行事を通じて、学び合える機会を創出する。



教員同士の情報交換・スキルアップ
各校の教員同士で、情報交換・スキルアップを目的とした研修等を定期的に実施。

加盟校 (2025年4月1日現在)



学校法人 北上学園
専修大学北上高等学校



学校法人 宇都宮星学園
星の杜中学校・高等学校



学校法人 ドルトン東京学園
ドルトン東京学園
中等部・高等部



学校法人 三浦学苑
三浦学苑
中等部・高等学校



学校法人 東駿学園
御殿場西高等学校



学校法人 市郷学園
名古屋経済大学
市郷高等学校



学校法人 立命館
立命館宇治
中学校・高等学校



学校法人 常翔学園
常翔学園中学校・高等学校



学校法人 広島加計学園
英数学館中・高等学校



学校法人 土佐塾学園
土佐塾中学・高等学校



学校法人 八洲学園
福岡女子商業高等学校



学校法人 東明館学園
東明館中学校・高等学校

キミは明日、どこで誰と学ぶ！？

国内留学、始動！

ハイスクールコンソーシアム国内留学「Second School Project」がいよいよスタート！コンソーシアムに所属する学校の中から、行きたい学校を選んで留学に出発！いつもの学校を飛び出して、新たな地域で、新たな仲間と、新たな刺激や学びを手に入れよう！



Innovative Learning 03 企業・大学との協働

社会と繋がる、実践的な学び

最新のデジタル技術や最先端の知に触れながら、実社会の課題に取り組む実践型プログラム。企業や大学と連携し、未来の社会を創る力を育みます。

企業 NTT東日本

NTT東日本が持つDXツールや専門的な知見、ノウハウに生徒が直接触れることで、実社会におけるデジタルを活用した課題解決のスキルを深く学びます。

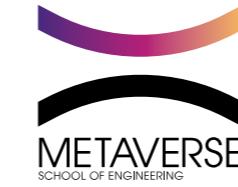
DX体験テーマ一覧

- ・業務の棚卸、整理や可視化を図る
- ・健康/地域コミュニティ
- ・現場作業の効率化
- ・災害対策
- ・日々の事務作業の簡略化
- ・ペーパレス化による業務効率化
- ・社員の安全やスキル継承に対する取り組み
- ・AIを活用した業務効率化、地域のお困りごと解決
- ・まちづくりPR

大学 東京大学メタバース工学部

2022年9月に開設した東京大学メタバース工学部はデジタル技術を活用し、年齢やジェンダー、立場などの属性にかかわらず最新の工学や情報を学べる学部です。

目的は、課題を解決し社会での活躍現場を視野に入れた自分の生き方を考えうること。また、人や文化に触れ、さまざまなツール活用によって新たな見方を働かせ実社会において活かせる力を身につけることです。



METaverse
SCHOOL OF ENGINEERING

生成AIプログラム

- STEP01 生成AI基礎
- STEP02 生成AIの仕組み
- STEP03 プロンプト・RAGについて
- STEP04 課題の設定
- STEP05 作成する生成AIの具体化
- STEP06 生成AIを用いた実装
- STEP07 生成AIの共有

テーマ 「宇都宮市の未来を創造し、貢献する」

設定・視点

自分を特定の地域に根ざす企業（公共施設）の一員と想定。その地域のことを探究し、より良くするための提案をする。

STEP01 (第1週) ガイダンス・動画・スライド

STEP02 (第2~3週) グループ分け・テーマ決め(目標設定)

STEP03 (第4週~) 調べ学習

課題設定

STEP04 (第14週~) 最終発表に向けて

課題設定

Innovative Learning 04 客員教員制度

将来を描く特別授業

生徒が自身の将来を描くために、カリキュラム外の取り組みにおいてもサポート。生徒の要望を受けてスタートした「社会人講話」もそのひとつです。さまざまな業界のプロフェッショナルを講師としてお招きし、進路選びや将来設計のきっかけになるような場を設定しています。

HOSHINOMORI TEACHERS FILE SPECIAL GUEST (2025年4月1日現在)



代表 上田 敦子 先生



代表理事 せんちょー 先生



代表取締役 亀田 トモノリ 先生



理事長・院長 駒橋 徹 先生



渡辺 幸子 先生



LiNaCreation 創業者/
宇都宮ベンチャーズ 相談員/
StartupWeekend宇都宮 オーガナイザー/
元花王株式会社 非常勤取締役
森 忍 先生



全米NLP協会認定心理カウンセラー/
フジオバーノナリティ/アーティスト/
元友達建設株式会社 非常勤取締役
永井 亜希 先生



ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社
常務取締役 山本 果奈 先生



煙の義将 代表 岡 義将 先生



鹿島田 千帆 先生



一般社団法人 栃木県若年者支援機構
代表理事 中野 謙作 先生



Hospitality Support 和心
所長 黒澤 和子 先生



株式会社 RIOT
平井 達朗 先生



病院マーケティングサミットJAPAN
代表理事 竹田 陽介 先生



星の杜中学校・高等学校の教育

より良い社会の実現のために行動できる
マインドとスキルを身につける

星の杜中学校

中学校では、高い英会話力とICTリテラシーを兼ね備え、デジタルツールを活用した表現・プレゼンテーションが自由自在にできることを目指します。また、地域や社会で起こっている問題に対して探究を深めていくことにより、問題発見・解決力も身につけます。新たな価値を創造し、社会に貢献できる“チェンジメーカー”になるための基礎的なマインドとスキルを学ぶ3年間です。

イノベーターコース

エンジニアコース

COURSE 01 イノベーターコース

2年生 | 3年生

仲間と協働し新たな価値を創造する力を育成します。2年次では、国語と社会の考え方を応用した教科横断型授業により社会への興味・関心を高め、3年次では、イノベーションを起こすための具体的な仕組みを学びます。

PICK UP CLASS

「ソーシャル・デザイン」



社会問題をロジカルに分析した上で、より良い未来のシナリオをデザインしテクノロジーを使いながら、さまざまな解決策を提示できる力を育成します。

▼身につく3つのスキル

01
パブリック
リレーションズ

社会に存在する多様な関係者（ステークホルダー）と、望ましい関係性を築くための考え方や行動のあり方。

02
システム思考

相互に影響し合う問題をひとつつの「システム」と捉え、多角的な視点から解決にアプローチする考え方。

03
スペキュラティブ
デザイン

予測不可能な未来で起こり得る課題について問い合わせ、考えるきっかけを作る活動。

COURSE 02 エンジニアコース

2年生 | 3年生

高い理系リテラシーとプログラミングスキルを兼ね備えたデジタル人材を育成します。2年次では、数学と理科を融合した視点でクリエイティブな思考力を高め、3年次では、STEAM分野における探究とプログラミングスキルを身につけます。

PICK UP CLASS

「STEAM・デザイン」



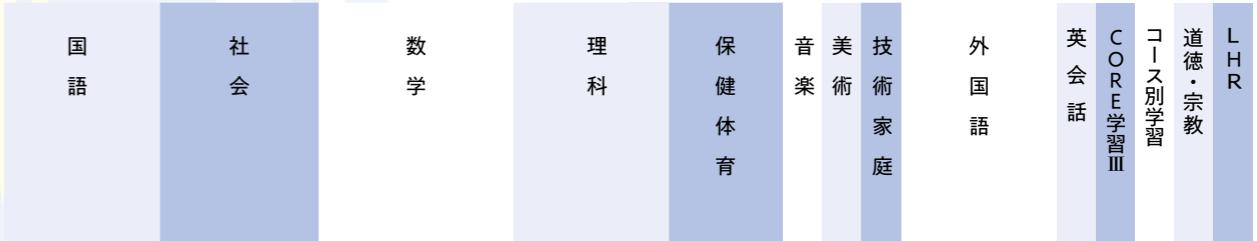
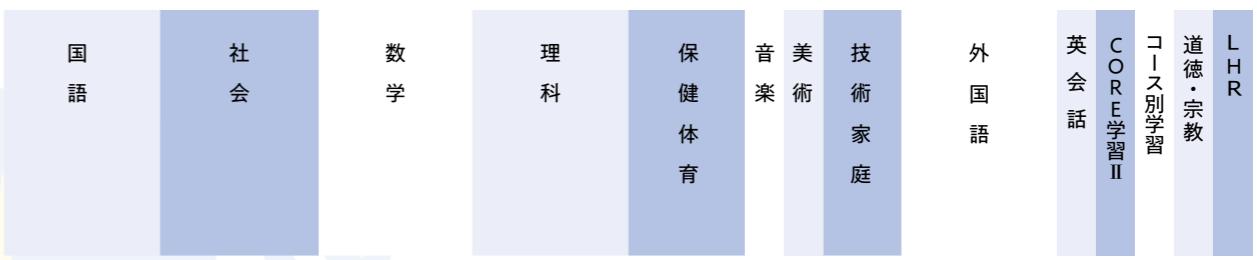
実在する事象から大きなテーマを設定し、さまざまな視点から課題を捉えて探究します。これからの社会の中で活躍できる力を育成します。

STEAM・デザインとは？

Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、Art/Arts(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)を横断的に学んでいく教育。



CURRICULUM



6年間をかけて“チェンジメーカー”を育成する

星の杜中学校だけのカリキュラムの秘密とは？

探究的な学びを核に、星の杜ならではの多様で実践的な学びを通して、生徒一人ひとりの興味や関心を引き出し、個性を最大化します。

CORE学習



星の杜の総合的な学習の時間は、教科の授業や学校行事、学校生活の核(コア)となる探究的な学びを深めていく特別授業です。COREの頭文字は、C = Curiosity(好奇心)、O = Open-mindedness(多様な視点)、R = Reflection(自己理解)、E = Engagement(社会との関わり)を表現しており、「好奇心を起点に多様な他者や社会つながり、自己理解を深めながら、行動につなげていく」ことを目的としています。

グリーンスクール研修



「アントレプレナーシップ」をテーマに、インドネシア・バリ島にあるグリーンスクールにて研修を行います。ここではすべての授業がPBL形式(課題解決型学習)で行われ、学年や年次を問わず、サステナブルな社会を構築するためのアントレプレナー(起業家)育成を行っています。

【期間】8日間
【地域】インドネシア バリ島



星の杜中学校・高等学校の教育

未来を変える“チェンジメーカー”になるための3年間

星の杜高等学校

これから予測困難な時代において、社会で活躍するために本当に必要な力を身につけるため、高校3年間の中でさまざまな学びの機会を提供します。自ら考え学び合う授業や、週3コマの探究、自身の興味・関心に合わせたコース選択やLiberal & Social Studies(LSS)、さらには大学や企業、自治体など社会と接続した学びを通じて、非認知スキルを育成します。

グローバル
ラーニングコース

ディープ
ラーニングコース

COURSE 01 グローバルラーニングコース(GL)

2年生 | 3年生

現代社会に英語力は必要不可欠です。在学中に英語を使う機会を豊富に設け、受験のための英語ではなく、世界で活躍するために必要なツールとしての英語コミュニケーション力を身につけることで、社会で活躍できる「グローバルシチズン」を育成します。



▼身につくスキル



英語
コミュニケーション力



自己表現力



異文化理解

多文化共生社会の中で、異文化理解やコミュニケーション能力に富み、公正・平等かつ健全な世界の構築に貢献できる人

自分の意見や考えを伝える力。語彙や文法の知識を積み重ね、それをベースに言葉でやり取りすることや、その中で相手の思いを受け取り、考えて行動に移すことができる力を育成する。

情報をまとめ論理的に伝える力。教科学習のみならず、さまざまな分野で得た情報から自分の意見を持ち、ノンバーバルコミュニケーションを駆使して思いや感情を伝える力を育成する。

異文化を理解し協働できる力。LSSではMulticultural Understanding(異文化理解教育)を設定し、グローバル社会において、国や地域のあらゆる違いを知り、尊重する力を育成する。

COURSE 02 ディープラーニングコース (DL)

2年生 | 3年生

PBL(Project Based Learning)の手法を使い、データを収集分析し、自分で答えを見出す学習を繰り返し実践します。情報収集力、分析力、問題発見・解決力などの非認知スキルを伸ばし、「チェンジメーカー」を育成します。



▼身につくスキル



論理的思考能力



デジタルスクリーニング



メタ認知

これはおかしいかもしれない、という身近な気づきや違和感を見て見ぬふりをせず、仲間を集めて解決するために行動できる人

物事を体系的に捉え思考し説明する力。ロジカルシンキングとも呼ばれ、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てる思考力、また、その思考を他者に分かりやすく伝える力を育成する。

プログラミングやデータ解析のスキル。高校生の年代からデジタルスキルを高めることで、AIの活用やDXによる変化が進む現代で活躍するため必要な情報収集・分析力、開発力、創造性を育成する。

自分の思考や行動を客観的に捉え、自己理解を深めることで、自らが描く将来に向けた進路選択やキャリアを形成するための力を育成する。

CURRICULUM

0	現代の国語	1	言語文化	2	公共	3	歴史総合	4	数学 I	5	数学 A	6	物理基礎	7	生物基礎	8	体育	9	保健	10	選択芸術 I (音美書)	11	英語コミュニケーション I	12	論理・表現 I	13	情報 I	14	CORE探求 I	15	データサイエンス	16	リベラル・ゼミ	17	LHR
---	-------	---	------	---	----	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	----	---	----	----	--------------	----	---------------	----	---------	----	------	----	----------	----	----------	----	---------	----	-----

1 年	DL	論理国語	GL	古典探究	地理総合	数学 II	数学 B	化学基礎	[選択]歴史探究 (日本/世界)	体育	保健	家庭基礎	英語コミュニケーション II	論理表現 II	情報 I	CORE探求 II	宗教 II	アントレプレナーライフ	LHR
--------	----	------	----	------	------	-------	------	------	------------------	----	----	------	----------------	---------	------	-----------	-------	-------------	-----

2 年	DL	論理国語	GL	古典探究	[選択]倫理政経	[選択]歴史探究	数学 C	数学特論	科学応用	[選択]国語表現情報 I	体育	英語コミュニケーション III	論理・表現 III	CORE探究 III	LHR
--------	----	------	----	------	----------	----------	------	------	------	--------------	----	-----------------	-----------	------------	-----

コースごとに異なる選択授業

LIBERAL & SOCIAL STUDIES (LSS)とは?

高校2・3年次で履修する選択授業。幅広い分野の知識の基盤を広げ社会に対する意識を高める「リベラルスタディー」と、社会構造について理解を深め積極的に関わる意欲を高める「ソーシャルスタディー」を組み合わせた授業です。LSSは教科の授業や探究学習、デジタルやグローバル教育など星の杜ならではの学びを体系的に接続させる役割を持ち、これからの社会で必要とされる専門的なスキルをさらに高めます。

グローバルラーニングコースのLSS



世界のあらゆる文化や生き方を学び、自分が同じ世界の一員であることを理解しながら、より実践的な英語表現方法やディベートなどの英語論文の書き方などの英語コミュニケーション力の向上を目指します。

CURRICULUM

Multicultural Understanding I / II

Logical Writing I / II

Assertive Communication I / II

ディープラーニングコースのLSS



実際に存在しているサービスをDXすることで、新たな価値を生み出すサービス・イノベーションや、DXするために必要な思考力、動画編集、アプリ開発の基礎スキルなどを身につけます。

CURRICULUM

ロジカルシンキング I / II

AIフロンティア I / II

ライフデザイン

「なりたい自分」を目指す進路支援

星の杜高校3年間のさまざまな経験を通して、自分の好きや得意を見つけ、「なりたい自分」になるための生徒の挑戦を最大限サポート!

[過去3年間の主な合格実績] 卒業生:134名

[海外大学]

シドニー大学^{QS世界大学ランキング18位} (オーストラリア) / デイトン大学 (アメリカ) /
アデレード大学 (オーストラリア) / 西オーストラリア大学 (オーストラリア) /
ティラーズ大学 (マレーシア) / 東北財経大学 (中国)

[国公立大学]

東京外国語大学 / 宇都宮大学 / 秋田大学 / 山形大学 /
新潟県立大学 / 前橋工科大学

[私立大学]

上智大学 / 慶應義塾大学 / 立教大学 / 学習院大学 /
中央大学 / 法政大学 / 同志社大学 / 東京薬科大学 /
立命館アジア太平洋大学 / 関西大学 / 関西学院大学 /
成蹊大学 / 明治学院大学 / 獨協大学 / 専修大学 / 文教大学 /
津田塾大学 / 東京女子大学 / 日本女子大学 / 獨協医科大学 /
芝浦工業大学 / 東京農業大学 / 東京電機大学 / 千葉工業大学 /
女子栄養大学 / 國際医療福祉大学 / 國學院大學 / 順天堂大学 / 玉川大学 / 南山大学 / 神田外語大学 /
名古屋外国語大学 / 帝京大学 / 大東文化大学 / 白鷗大学 / 亜細亞大学 / 武藏野大学 / 杏林大学 / 桜美林大学 /
大正大学 / 昭和女子大学 / 聖心女子大学 / フェリス女学院大学 / 白百合女子大学 / 共立女子大学 /
大妻女子大学 / 跡見学園女子大学 / 清泉女子大学 / 東京家政大学 / 十文字学園女子大学 etc.

星の杜でのさまざまな経験を通して
「総合型」「学校推薦型」選抜も攻略

総合型・学校推薦型
合格実績

82.8 %

充実の指定校
推薦枠

300 以上

Point 300以上の豊富な指定校推薦枠や
カトリック校だけの特別入試の大学もあり

[主な指定校推薦枠]

学習院大学 / 立命館大学 / 法政大学 / 東京女子大学 / 昭和薬科大学 / 芝浦工業大学 / 工学院大学 / 東京電機大学 / 千葉工業大学 / 獨協大学 / 玉川大学 / 東京農業大学 / 帝京大学 / 國際医療福祉大学 / 昭和女子大学 / フェリス女学院大学 / 実践女子大学 / 大妻女子大学 / 情報経営ノベーション専門職大学 etc.

[カトリック高校特別入試対象大学]

上智大学 / 聖心女子大学 / 南山大学 etc.

合格者INTERVIEW

星の杜で学び、自分の力で未来を切り拓いた
4名のリアルな声をお届け!



voice/01

山崎 愛佳さん

合格

上智大学

文学部英文学科1年生

学生時代は、ボランティアの経験をたくさん積んでおくことが重要だと思います。人と関わる機会がとても増えるので、自分の引き出しを増えるし、面接する時の会話をする練習になります。2年生の時に、米空軍士官学校の学生に、日光での研修と観光を兼ねたボランティアで通訳をしました。改めて日本の文化を知ることができ、会話でアメリカの文化にも触れ、両国の文化の違いを知ることができたのは興味深かったです。大学受験と聞くと、みじけびげてしまう人も多いと思います。私もそうでした。周りの方達の助けを借りれば、何を心配する事なく試験に臨めます。



voice/02

羽石 紗音さん

合格

学習院大学

法学部法学科1年生

法学部を選んだのは、星の杜での学びの中で法律に興味を抱き、深く学びたいと思うようになつたからです。法律は条文を学ぶだけがすべてではなく、物事を多角的に見ながら善悪を判断することにとても面白さを感じています。学校からは、大学についての情報を始め、必要な資格や学び方について教えてもらいました。「大学で何をしたいのか?」を考え、受験に挑んでほしい」とアドバイスをもらえたことが、心構えとしてとても参考になりました。大学受験は不安なことが多いと思います。希望の大学についてたくさん調べて、努力をすれば、余裕を持って取り組めると思います。



voice/03

富貴塚 紗愛さん

合格

同志社大学

文学部美学芸術学科1年生

星の杜には、教科の先生や起業をしている先生、勉強を支援する先生など、さまざまな先生がいます。そういう先生方に、将来どのような関係の仕事に就きたいのか、大学の選び方など、いろんな話をしながら相談しました。同志社大学の美学芸術学科は、芸術に関する知識を高めるだけではなくて、作品に対する感性を育むことができる授業があることを知りました。芸術に対する自分の視野を広げるという、私にとって一つのゴールだなと思い、最終的に同志社大学を選びました。さらに言えば、志望理由書や面接でも、星の杜の先生方との会話から、自分の強みを引き出せることができました。



voice/04

水沼 遥花さん

合格

国際医療福祉大学

薬学部薬学科1年生

持病の治療をしていく中で、薬剤師さんの方々に支えてもらっていることが、大学で薬学部を選んだ大きなきっかけです。総合型選抜で入試を受けましたが、面接では星の杜でのサポートが大いに役立ちました。正しい言葉を使おうと意識しきて、硬い表現になっていたのですが、先生方と面接の練習をした時には、内容だけでなく受け答えをする際の話しかそのものも指摘してくれたおかげで、本番の面接ではスムーズに自分の考えを話すことができました。受験を終えた時に痛感したことは、本当に少しでもいいので、コツコツ毎日勉強すること、習慣化することが、試験の時には重要だということです。



Point 生徒一人ひとりに合わせた学びのサポート

ICTツールを活用し、生徒自身の苦手に気づき、自分にあった学習を進めることができる「個別最適化学習」を推進しています。また、生徒が自由に使える自習室も完備。宇都宮大学の学生が毎日、放課後学習支援員として日替わりで自習室に来てくれます。一人ひとりに合わせた学習サポートはもちろん、学習の方法や進路に関する相談にも応じます。

Hoshinomori Teachers File

みんなのサポーター!
星の杜の先生たちを紹介



SCHOOL DAYS



- 4月**
- 入学式
 - スタートアッププログラム
 - 生徒会総会
 - 森のチームビルディング(中学生)

- 5月**
- 聖母月
 - 星の杜DAY (スポフェス)
 - 南魚沼体験プログラム (中学生)

- 6月**
- 創立記念式典
 - 星の杜DAY (スポフェス)
 - 南魚沼体験プログラム (中学生)

- 7月**
- 星の杜DAY
 - 終業式
 - 夏休み

- 8月**
- 夏休み

- 9月**
- 始業式
 - 眩星祭 (学校祭)
 - 生徒会役員選挙
 - ロザリオの祈り
 - アジア学院研修 (中1)

- 10月**
- 全世界留学 (高2GLコース)
 - 全世界探究 (高2DLコース)
 - グローバルビレッジ (高1)
 - 南魚沼体験プログラム (中学生)
 - ハロウィン

- 11月**
- 追悼ミサ
 - 奉仕活動
 - 芸術鑑賞会
 - 星の杜DAY
 - グリーンスクール研修 (中3)

- 12月**
- クリスマス
 - 終業式
 - 休休み

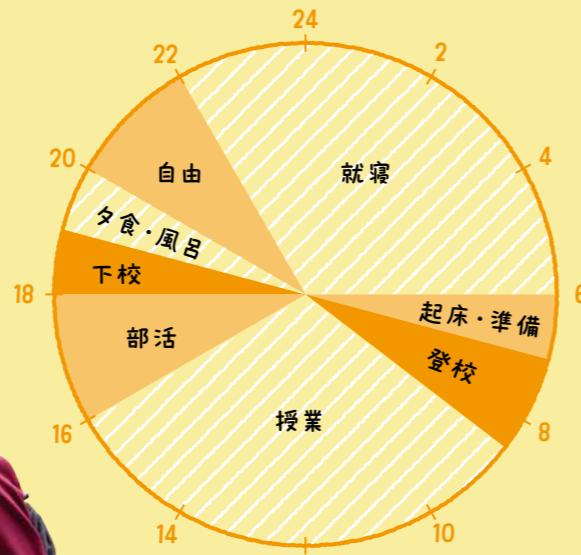
- 1月**
- 始業式
 - 中長期留学出発 (高1・6ヶ月/1年間)
- 2月**
- 春休み
- 3月**
- 卒業証書授与式
 - 修了式
 - 春休み
 - 探究発表会
 - 3週間留学 (希望者)

one day Report 中学生の1日

How's it
going?



LRT通学は最寄りの「清陵高校前」から無料のシャトルバスが運行中!



Enjoy!



ランチはお弁当を持ってきたり、キッチンカーが来たり、パンの販売があったり!



星の杜のイチバンのおすすめは授業が楽しいこと!

Let's keep
it up!

Q 星の杜の好きなところは?

自分の好きなこと、やりたいことを尊重して本気で応援してくれる所です。LIVEとかでお休みすることがありますが、公欠にしてくれば、前日に先生もお友達も「頑張ってー!」って声をかけてくれます!!先生達も先輩も後輩も明るくて優しくて毎日学校にいて楽しいなって思います!

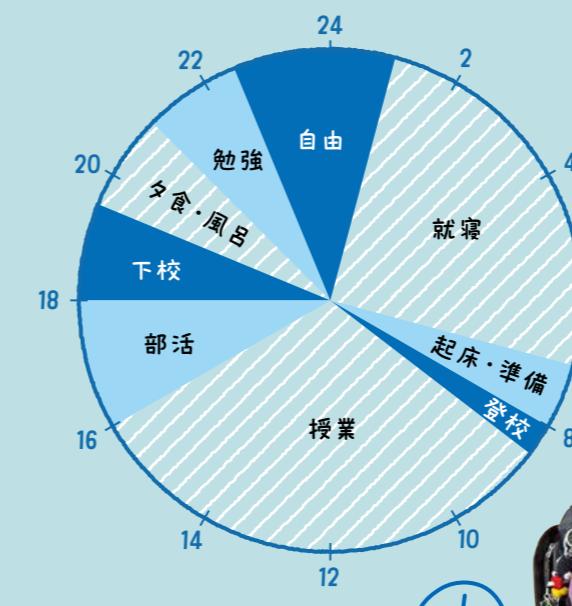
Q 自分にとって「星の杜らしさ」を感じるのはどんな時?

探究で話し合ってる時とか意見を出してる時です!意見を言いやすい雰囲気で意見を言った後もみんな肯定してくれます。先生が出てくれた問い合わせにみんなで答えていく時に、星の杜らしいなーって思います!あと個人的に制服着てる時も星の杜だなーって笑

Q 自分が成長したなと感じる場面は?

プレゼンとか発表の時とか自己主張ができるようになったことです。発表とか意見を交換する機会が増えて相手の意見と自分の意見が違ってもどちらも尊重しながら解決していくことを学んだので、自分の意見をしっかり言えるようになりました!

one day Report 高校生の1日



天気がいい日は天然芝の校庭で昼食を食べています!



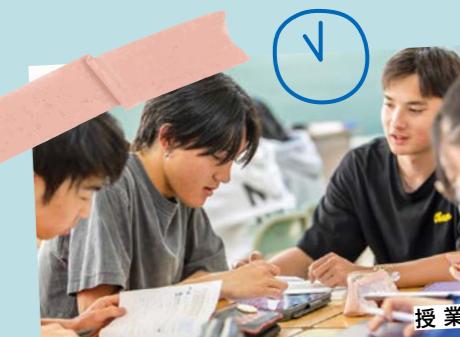
See ya!



スクールバスは真岡方面にも運行しています!

星の杜高等学校2年

峰岸 柚羽さん
(益子町立益子中学校出身)



中学校の時とは全く違う授業スタイル!

HOSHINOMORI
Style!



放課後

サッカー部のこれから活躍にご期待ください!

Playing
Soccer!



Q 星の杜に入学した理由は?

デジタル教育と探究学習に力を入れていたので、とても充実していると感じました。その分野を学ぶことで、自分の考える力と表現力を高め、伸ばしていきたいと思ったので星の杜に入学しました。

Q 星の杜の授業ってどんな感じ?

星の杜の授業は、生徒同士がいろんなグループごとに分かれ、グループで話し合いながら「アイランド形式」で授業をしています。ですから、先生が授業をするのではなく、生徒が主体的に授業に取り組んでいます。

Q 入学して、自分の中で変わったと思うことは?

星の杜に入学して、友達と意見を交わしながら自分の考えと相手の考えをより深く考えることができるようになりました。また、物事をいろんな視点で捉えられるようになります、素早く行動することができるようになりました!

FIND A SHINING STAR

星の杜中学校・高等学校に
通う輝く生徒たちを紹介！

01



自由な校風が、ここを選んだ理由
星の杜が引き出した“自分らしさ”

小学5年生までフランスやベルギーに住んでいたので、日本の学校に入学することに不安がありました。でも、星の杜の自由な校風や、英語を話す人が多そうな雰囲気を感じ、ここなら大丈夫だと思い入学を決めました。授業の仕方も違いますし、お昼を食べる場所も自由。授業中分からない言葉は、Google翻訳を使っても良いので戸惑うことはありません。学校生活は楽しくて、友達もたくさんできました。星の杜は、自分で考えて行動する機会がとても多くありますが、とても良いなって感じています。僕はまだ中2ですが、今学んで実行したことは全部、大人になっても使えると思うからです。

フランス出身です。8年間ベルギーに住み、フライドポテトやワッフルを味わいました。

「自分で考える機会の多さが、
未来に活きるなって思う」

中学校2年
澤 想宙さん
(宇都宮市立桜小学校 出身)

「自分で考える機会の多さが、
未来に活きるなって思う」

中学校2年
澤 想宙さん
(宇都宮市立桜小学校 出身)



全国こども陶芸展 内閣総理大臣賞受賞
心を動かす多才なアーティスト

父が陶芸家なので、私も2~3歳の頃から興味が生まれ、小学4年生からコンクールに出品するようになりました。昨年「第23回全国こども陶芸展inかさま」に出品。内閣総理大臣賞を受賞することができたのは、嬉しかったですね。とても時間をかけた作品だったので。私は、音楽も好きで小学生の時は吹奏楽部を頑張っていました。音楽では、聴いてもらう方に幸せを届けたいし、陶芸なら鑑賞した方に感動を与える。そして、星の杜は英語に力を入れているから入学しました。音楽、陶芸、英語。全部を頑張りながら、それらを活かせる仕事を学生時代に見つけたいと思っています。

「陶芸で、鑑賞した人に
感動を与えるたいです」

中学校1年
伊藤 しいなさん
(益子町立益子小学校 出身)

「英語で話せる機会が
多いことがとても楽しいです」



「幸せのぼうし」が第23回全国こども陶芸展
in かさま 内閣総理大臣賞 受賞！

優しさと強さで人々を救う
熱い思いを秘めたJRC活動家

病気で入院した時に、私は多くの人に支えられて生きていることに改めて気づいたんです。いつか誰かの力になりたいと思い取り組んでいたのが、日本赤十字のJRC（青少年赤十字）活動です。生徒会に立候補した時にはAEDの実践型講習を公約に掲げ実施しました。星の杜では探究の授業を通じて、「なぜ物事は身近に感じられないのか」というテーマにとても興味が湧きました。私はアイヌ民族が好きでとても関心がありますが、すべての人において身近なものではありません。探究という視点を持って、将来は大学で民俗学をもっと広く深めたいと思っています。

高等学校3年
松下 さくらさん
(宇都宮海星女子学院中学校 出身)

「いつか誰かの力になりたいと
思って取り組んでいます」



高等学校2年
塙本 聖成さん
(宇都宮市立清原中学校 出身)

「日本にモータースポーツの
魅力を伝えていきたい！」

夢はワールドチャンピオン
FDAに選抜された
未来のF1ドライバー

スクーデリア・フェラーリ・ドライバー・アカデミー（FDA）アジア太平洋・オセアニア選抜プログラムのオーディションで、14名（日本人では1人）に選ばれたのは、とても良い経験になりました。レーシングドライバーを目指しているのは、走ることが好きなだけではなく、日本にモータースポーツの魅力を伝えていきたいからです。そしてドライバー卒業後は、車両開発部門のディレクターを務めたいと考えています。ドライバーの視点でエンジニアができたら、強みが出来ると思うからです。もちろんその前にF1のドライバーになって、ワールドチャンピオンを取る目標を叶えたいですね。



2024年9月にマレーシアのセパンサーキットで行われたScuderia Ferrari Driver Academyに参加した時の写真です。



「星の杜のおかげで、
私の研究熱は高まっています！」

高等学校1年
土屋 沙梨菜さん
(宇都宮市立清原中学校 出身)



HOSHINOMORI_student
About me ♡ ...



アジア初の新元素「ニホニウム」が発見された理化学研究所で、研究をしてきました！

自分の“問い合わせ”に一直線！
探究を極めるサイエンスガール

保育園時代に観た「アナと雪の女王」がきっかけで、なぜ氷が水になるのか。その過程にとても興味を持ち、小1の時に研究したのが私の探究の始まりです。これはどうなんだろう？気温と湿度の関係は？と、疑問が湧いたことはどんどん深掘りしてきました。しかし、専門的になればなるほど、実験器具が必要になります。その部分を補うために、宇都宮大学の科学人材育成プログラム「iP-U」に応募。対象が高校生でしたが、熱意で中2の私を受け入れてもらいました。研究の熱はさらに高まり、その後は筑波大学、理化学研究所、東京大学と熱意で受け入れてもらいました。星の杜は授業ではない研究も後押ししてくれるの、私の研究熱はさらに高まっています。

| HOSHINOMORI | Presented by ambassador |

STUDENT JOURNAL



星の杜の広報担当『アンバサダー』の生徒たちが送る“Student Journal”。
一癖も二癖もある生徒たちが歩む、『星の杜』の長すぎる旅路“序章”的開幕です。



星の杜の学校生活



学校行事やイベントが豊富！

星の杜では、生徒が主体的に企画から運営までを行う1日「星の杜DAY」が年に3回あります。昨年度は体育祭・学校祭・ハウス対抗イベントなど、さまざまなイベントを開催しました。

体育祭は入学・進級してからすぐだったので、クラスメイトのことを知るきっかけになり、自然と団結力が深まりました。その辺は、学校生活のいろんな場面で活かされ、クラスで協力する楽しさを実感できます。

ハウス対抗イベントでは、学年を越えてチームを組むので、普段あまり関わることのない先輩や後輩と仲良くなれるのも魅力のひとつ！お互いの得意なことを活かしながら、力を合わせて優勝を目指します。

また、星の杜の学校祭「煌星祭(こうせいさい)」は、生徒実行委員が中心になって運営を行い、クラスや委員会、サークルによる出し物、有志発表なども盛り上がります。

さらに、放課後には季節ごとに生徒主催のイベントもあります。ハロウイン、クリスマス、バレンタインなど、生徒同士で企画して、先生たちの支えもあって楽しいひとときを過ごしています。星の杜の行事やイベントを通して、かけがえのない青春の一ページを刻んでいます！

Jay cheese!



国際交流が盛ん！

星の杜中学校・高等学校では英語力と国際感覚を育む多彩な国際交流プログラムを提供しています。昨年度は台湾の高校生との交流会や、デンマークからの留学生など、さまざまな国との関わりがありました。現在も引き続き積極的に留学生の受け入れを行なっています。そして、星の杜から多くの生徒が期間を問わず留学に挑戦しています。さらに、海外大学指定校推薦制度により、海外大学への進学の道も広がっており、授業はもちろん、学校行事や進路支援で、グローバルに活躍する人材を育てています。



授業スタイルが特徴的！

星の杜の授業スタイルは、ほとんどがグループワーク中心です。先生の話はトータルでだいたい10分くらいと短く、その後は生徒同士で話し合いながら、考えたり発表する時間がたっぷりあります。

授業中は先生から問い合わせが投げかけられ、ディスカッションの時間が中心なので、みんなが自然と考え続け、発言もどんどん出てきます。だから、授業中に寝ている人なんていません(笑)クラスの雰囲気もとても良くて、意見や質問も言いやすいし、楽しみながら学べるので、一つひとつの授業がとても充実した時間になっています。

グループワークでは、お互いの得意を活かして教え合うことも多く、アウトプットを通して、学んだことが身につくのを実感できます！



星の杜の誇り カトリック

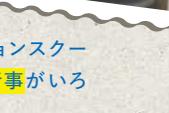


様々な事に チャレンジできる ベースがある

星の杜では、ボランティアや研修、留学など、他の学校ではなかなか体験できることにも気軽にチャレンジできます。

留学は中長期留学と全世界留学の2種類があり、行き先も世界中から選べます。また、学校内外で行われる研修やボランティアへ参加できる機会も充実しています。地域で開催されるイベントの運営やボランティア、福祉施設での研修や外部講師の講演、被災地の復興支援など実践的な活動に参加することもできます。さらに、今年開催される大阪・関西万博では、栃木県の魅力を伝えるプレゼンテーションをする機会もいただきました！

こうした情報はすべて生徒にオープンに共有されていて、「やってみたい！」と思ったら誰でもチャレンジできる環境が整っています。誰もが自分らしい挑戦に踏み出せる、そんな雰囲気が星の杜の魅力です。



STUDY

星の杜は北関東で唯一のカトリック系ミッションスクールです。そのため、カトリック校ならではの宗教行事がいろいろ行われています。

中でも定期的に行われる「ミサ」は、月に一度、放課後に聖堂で開かれていて、希望者は誰でも参加できます。また、5月(聖母月)と11月(死者の月)には、全校生徒が参加する大きなミサもあります。全校ミサでは管弦楽部が聖歌の演奏を担当していて、会場全体がとても厳かで美しい雰囲気を包みます。

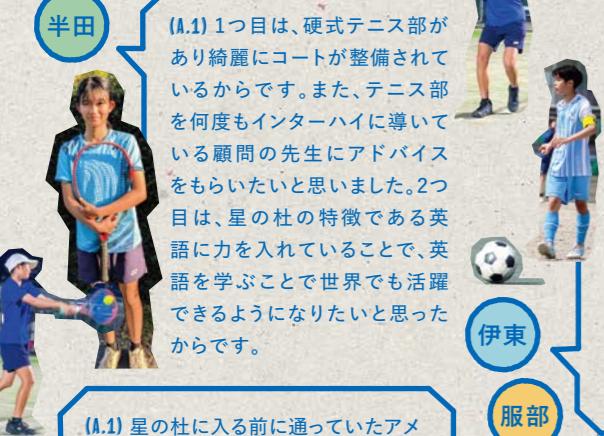
「宗教」の授業ではミサについて学んだり、音楽の授業で聖歌を練習したりするので、宗教行事にも安心して参加できるようになります。宗教行事を通して、星の杜ならではの雰囲気を体験してみませんか？



星の杜に入学した理由は?

Q.1

半田



(A.1) 1つ目は、硬式テニス部があり綺麗にコートが整備されているからです。また、テニス部を何度もインターハイに導いている顧問の先生にアドバイスをもらいたいと思いました。2つ目は、星の杜の特徴である英語に力を入れていることで、英語を学ぶことで世界でも活躍できるようになりたいと思ったからです。

伊東

服部

(A.1) 星の杜に入る前に通っていたアメリカの学校と似ている部分が多く、自分たちで考え、自分たちで決める必要があるため、伴う責任を求められます、その部分も含めて星の杜の校風が自分に合っていると思ったからです。



久野

(A.1) 一番の理由は、英語教育に力を入れており、英語の授業がレベル分けされていることです。私は小学校高学年頃から英語が大好きで、ずっと学び続けてきました。その中で、「もっと英語を学ぶには海外留学しかないのかな。でも、それはちょっとハードルが高いな」と感じていた時、この学校のことを新聞で知りました。調べてみると、英語の授業が対話を中心に行われており、クラスもレベルに応じて分けられていると知って、「ここなら自分に合った学び方ができる」と感じ、入学を決めました。



(A.1) 1つ目は、サッカー部を強くしたかったからです。そのために、まずは今4部リーグから3部リーグに上がることが目標です!リーグを上げるために、全員が学校はもちろん、多くの人から応援されるようなチームになります!2つ目は、留学に行っていろんなことを経験したいからです。中学生の時にロサンゼルスにもう一度留学して、学校に通いながら文化に触れ、英語力を向上させたいです!

星の杜って、



答えてくれたのは
こちらのみなさん!
Special
Thanks!



中学2年
半田 彩寧さん
(宇都宮市立清原北小学校 出身)

中学2年の半田彩寧です。テニス部に所属していて、学校の部活動以外にもテニスクラブに通って、週6回練習をしています。



中学3年
服部 新大さん
(Washington Elementary School 出身)

アメリカからの帰国子女で、2024年に編入しました。テニス部に所属し、特技はルーピックキューブ、趣味はSAXです。英検準1級の取得や、プログラム検定の高難易度であるレベル6にも合格しました。

あなたが思う 星の杜“だから” できたことは?

Q.3

半田

伊東

(A.3) プрезентーションをする機会がたくさんあったことです。公立の中学校ではなかなかできないプレゼンの発表をする機会がたくさんあって、発表をしたりスライドを作ったりするスキルが上がりました。

(A.3) まだ入学したばかりだけど、グループワークなどが多いので友達をめっちゃ作れました!授業や学校生活でなにかにつまずいた時は、すぐに友達や先生に相談したり聞いたりできる環境があるので、すごく安心できました。



服部

(A.3) 授業などでプレゼンテーションをする時間が多くの、プレゼンテーションをするために必要なコミュニケーション力の向上や、自分が伝えたいことを整理してスライドを見やすくする方法などを学んだことです。

(A.3) それは「お店の経営」です。星の杜には「探究学習」という、自分の興味のあるテーマを深く掘り下げる授業があり、私はその授業の一環でシーリングスタンプのワークショップを行う小さなお店を経営しています。私は日光に住んでいて、「日光市をより学生が活躍できるまちへ」というテーマで探究をスタートしました。その過程で、カンボジアや福島へのインターン、市役所でのプレゼンなどを経験し、そこからアイデアが生まれ、お店の経営につながりました。まさか自分が高校生でお店を持つとは、想像もしていませんでした。ここまで来られたのは、探究学習の仕組みはもちろん、私の挑戦を全力で応援してくれる仲間や先生方がいたからこそだと感じています。



あなたが思う 星の杜の “ココ”がすごい!

Q.2

伊東

(A.2) 自分の特技や興味のあることについて、とことん探究ができるところ、学校の中だけではなく外でも参加できるボランティアの機会がたくさんあるので、学校の授業だけではなく色々な経験ができるところです。

(A.2) 「自分のやりたいことに集中して取り組める環境が整っている」というところです。探究やサッカー部の様子でももちろん感じましたが、入学式のパフォーマンスを見てそう感じました!自分がやりたいことの英語にも力を入れている学校なので、さらにそう感じています!

久野

(A.2) なんといっても「得意を生かせる場がたくさんあること」です! 皆さんは、「学校で活躍する=リーダーシップがある人」と思っていませんか?でもこの学校ではそれだけじゃありません。校則がないからこそ、メイクが得意な人やおしゃれが好きな人が輝ける場所もありますし、ボランティアの募集も国内外問わず頻繁にあります。本当に幅広い分野で、一人ひとりの「得意」が生かせるのが、星の杜の素晴らしいところだと思います!

教えて! 先輩! ?



高校1年
伊東 洋瑛さん
(さくら市立氏家中学校 出身)

半田

サッカーやってます! 今年の3月に国体のU-16にも選抜されたので、星の杜のサッカー部に限らず幅広く活躍していきたいです! 小学校6年生の時には、太郎賞にも選ばれました!



高校2年
久野 美恋彩さん
(日光市立今市中学校 出身)

伊東

生徒会長を務めており、とにかく元気で、行動力には自信があります! 探究に力を入れていて、シーリングスタンプのワークショップを行なう小さなお店を経営しています!

Q.4

星の杜を 目指している みなさんに ひとこと!

We are
ambassador!

編集後記



CHECK!

Instagram



TikTok



今回この記事を執筆、編集したのは星の杜の学校広報スタッフ『アンバサダー』です。私たちは星の杜の魅力を外部の人たちに知ってもらうためにInstagramやTikTokを使用して活動しています。



CLUB & CIRCLE

部活動やサークルで
“もっと”充実した
学校生活を！

CLUB - 部活動 - 🔥 = 強化部

- サッカー部
- 女子バレー部
- テニス部
- 箏曲部
- スポーツデザインクラブ
- バドミントン部
- チアリーディング部
- 卓球部
- 弓道部
- 美術部
- 書道部
- 茶道部
- 華道部
- 管弦楽部

CIRCLE - サークル -

- アンバサダー
- 写真サークル
- カトリック研究会
- ESS
- バスケットボールサークル
- 空手道サークル
- 軽音サークル
- コスプレサークル
- 国際交流サークル
- 麻雀サークル
- 図書サークル

サークル活動とは？

星の杜では、5名以上の生徒が集まって、校内でのサークル活動をすることができます。サークル活動には顧問の先生を必要としません。生徒が主体的に活動できるのも、星の杜の魅力！



—— 星の杜の部活動で、大切なことは何ですか。

菅 部活動は学校教育の一環として考えています。部活動を通して子供達の成長や、非認知スキル能力向上に繋げていくことを大切にしています。もちろん勝つことも求めますが、勝利至上主義ではありません。技能の向上だけでなく、人としての成長、両方を追求しています。たとえ勝利を勝ち取れなかったとしても、自分達が設定した目標を達成することが大事であると思っています。

大山 キーワードとして一つ挙げるしたら「楽しむ」。勝ちを求める過ぎてしまうと、選手もやる気をなくしてしまうことがあります。「楽しむ」という考えは学校全体に浸透していて、星の杜はどの部活動も笑顔が多い。指導者も楽しんでいると感じています。

菅 もう一つ大切なことは、生徒自身が主体的に活動するということ。そのために、「全員何かのリーダーになろう」ということを伝えています。キャプテンや副キャプテンといったリーダーだけではなく、全員が何かしらの役割を与えられるようにしようと。人は役割を与えられると嬉しいですし、責任感が出て、帰属意識も生まれます。この考えはまだ始まったばかりですが、星の杜の校風には合うと思っています。

大山 役割を与えられると、自分自身が何をすべきかが分かりやすくなるので、動きも変わってくるんですよね。

—— 部活動が増えてきて、学校の雰囲気は変わったか。

菅 部活動をやる子が多くなってきたので、雰囲気は変わってきました。放課後、校庭でサッカーをやっている、体育館でバレーボール部の声が聞こえてくる。学校全体に活気が出てきたという感覚がありますね。

大山 開校当時に比べるといい意味で賑やかになってきました。体育館では床がキュッとなる音やボールを打つ音。外に出ればサッカー部が声を出しながらバス練習をしたり、テニスコートでは、ボールをポンポン打っている音が聞こえたり。印象がガラッと変わってきていて、学校の雰囲気も良くなっていると思いますね。部活をやっていなかった子にも良い影響を与えていて「私もやりたい」という子も増えてきました。「友達が部活を頑張っているから、私は勉強頑張る!」というムードも、少しづつ出てきていると感じています。

菅 部活を頑張っている姿を他の生徒達が見ることができて、良い影響を与えているんだろうなって思います。それがスポーツの良さでもあるので、そういったところから成長していってほしいですね。

—— お二人はサッカー部の顧問ですが、部としてのビジョンはありますか。

大山 最終目標は国立競技場に立つこと。全国高校サッカー選手権大会でベスト4以上に入らなければ試合ができないピッチでプレーすることです。何年かかるか分からないうですが、辿り着きたいと思っています。現在4部リーグ所属ですが、まずは県でベスト8に入るという目標を掲げています。そして、周囲から応援される「チーム」、「人」になるという目的意識を持って、選手達と共に取り組んでいます。

今年初めて、サッカー特待生の入学がありました。昨年の成績は決して良い結果ではなかったのにもかかわらず、サッカー部に入部してくれたんです。決してサッカーだけをやれば良いわけではなく、星の杜の学校の方針と部活動の方針をきちんと説明した上で入学してくれているので、そこに魅力を感じ共感してくれたんだと思います。

菅 私の方が年上ですけど、信頼している大山先生をサポートしながら、その大きな目標を実現できるよう一生懸命頑張りたいと思っています(笑)

部活動って？

星の杜が考える



スポーツ推進ディレクター
サッカー部 副顧問
高校2年生担任
菅 和範

Kazunori Kan

2012年から栃木SCに加入、2020年シーズンにキャプテンを務めた。現役引退後、サッカー選手としての経験や、父親としての実体験から「さまざまな経験、学び」に触れる機会を作るために「株式会社WAQUOISE」を設立。2024年4月から星の杜で教員として勤務。

サッカー部 顧問
高校2年生担任
大山 玲

Rei Oyama

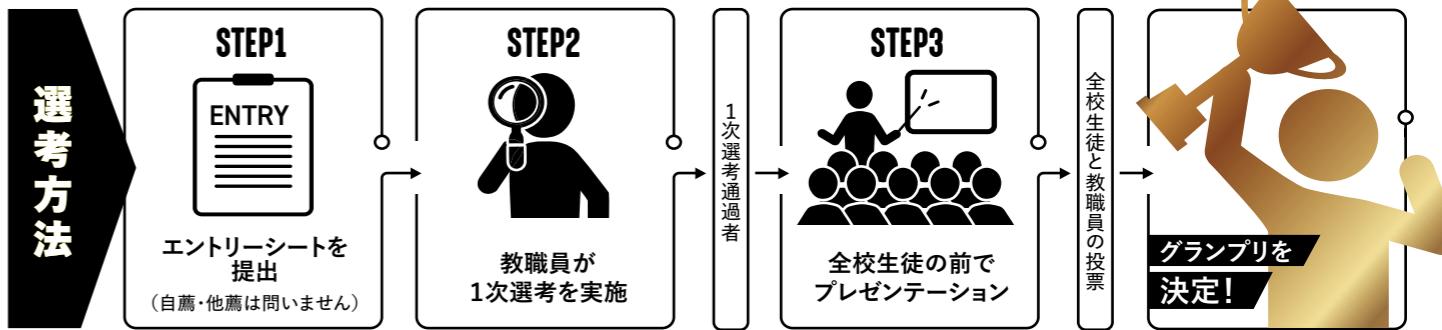
宇都宮市出身、栃木SCジュニアユースではU-15全国大会でベスト8入り。高円宮杯U-15では全国大会に出場。高校時代はチームのキャプテンとして活躍。国体メンバーにも選出され、全国高校サッカー選手権栃木大会準優勝。関東高校サッカー大会優秀選手賞獲得。2023年4月から星の杜で教員として勤務。

星の杜のチェンジメーカーは だ。

HOSHINOMORI チェンジメーカーアワード CHANGEMAKER AWARD

星の杜
チェンジメーカー
アワードとは？

星の杜中学校・高等学校では、「新たな価値を創造し、社会に貢献するチェンジメーカーの育成」をスクールミッションに掲げ、日々の学習やさまざまな活動を通して、これから社会で活躍できる力の育成に取り組んでいます。この「HOSHINOMORI Changemaker Award」は、そのミッションを体現し、自ら課題を見出し、仲間とともに考え、果敢にチャレンジした生徒個人またはグループを表彰するものです。学校内外を問わず、自分たちの行動によってまわりにポジティブな変化をもたらした取り組みを対象とし、そのプロセスや成果、影響力を総合的に評価します。多様なフィールドで主体性を發揮し、星の杜がスクールミッションとして掲げる「チェンジメーカー」を体現し、自らの課題解決や、未知への挑戦などを経て、「未来を変える星」として活躍してくれた個人やグループを表彰しています。学校内外での取り組みを通じて発揮された主体性や姿勢を讃え、さらなる挑戦を応援します。



HOSHINOMORI CHANGEMAKER AWARD 2024

2024年度 最終選考ファイナリスト

Grand Prix
日光市をより学生が
活躍できるまちへ
高校1年 久野 美恋彩さん



- 星の杜アンバサダーでの活動 高校2年 綿引 玲衣さん、満田 真緒さん、清水 智澄さん、高橋 海翔さん、徳永 悠粹さん／高校1年 枝本 芙由香さん
- スクーデリア・フェラーリ・ドライバー・アカデミー(FDA) アジア太平洋・オセアニア選抜プログラムからの召集および日本からの単独参加 高校1年 塚本 聖成さん
- 12年目、ついに海星学園がとちぎアントレプレナーコンテストで掴んだ栄光の瞬間 高校1年 福田 野々花さん



CHAIRMAN

教育に携わって約40年。

昔は指導という言葉を使用していた時期がありました。しかし、現代のような時代の変化が激しい中で、教員が指して導けることはありません。これからは、新しいものを自分たちで生み出していく社会だと思います。だからこそ、一人ひとりが、失敗を恐れずに何かにチャレンジしてみる必要がある。

星の杜が提唱するエンジニアは、決してハードルは高くありません。必ず起業しなくてはいけないわけではないし、クリエイターになれ、というわけではない。普通に会社で働くことでも良いんです。

ただその中で新しいものを生み出したい。現状ではいけないと思い、一歩を踏み出して何か行動を起こす。それもエンジニアだと思います。中学生や高校生の多感な時期に自分で考えて挑戦するという、行動力とマインドを作つてあげたいと思っています。

「新たな自分」と出会い、人生を切りひらいていきたい。そんな気持ちを持っている人は、ぜひ星の杜でチャレンジしてほしいですね。

学校法人 宇都宮海星学園 理事長

石川 一郎 Ishikawa Ichiro

1962年東京都出身、早稲田大学教育学部卒業。日本とアメリカの海外生活を経て暁星国際学園(東京)、ロサンゼルスインターナショナルスクールで教鞭を執った後、かえつ有明中学校・高等学校(東京)校長、香里又ヴェール学院(大阪)学院長を歴任。現在は全国で多くの学校でディレクターや理事を務めながら、教育改革を手掛ける。2021年度より星の杜中学校・高等学校ではカリキュラムディレクター、学園理事として関わる。著書「2020年の大学入試問題」(講談社)、「2020年からの教師問題」、「いま知らないと後悔する2024年の大学入試改革」(青春出版社)、「捨てられる教師 AIに駆逐される教師、生き残る教師」(SB新書)など多数。

(BOOK #01)

2020年の大学入試問題



~~~~~ 石川理事長の近著もチェック！~~~~~

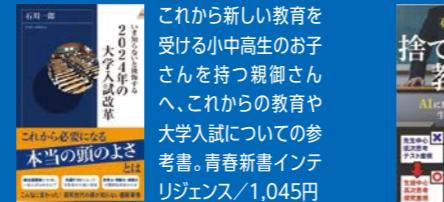
(BOOK #02)

学校の大問題 これからの「教育リスク」を考える



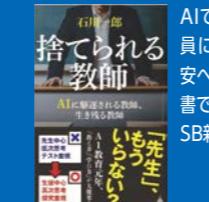
(BOOK #03)

いま知らないと後悔する2024年の大学入試改革



(BOOK #04)

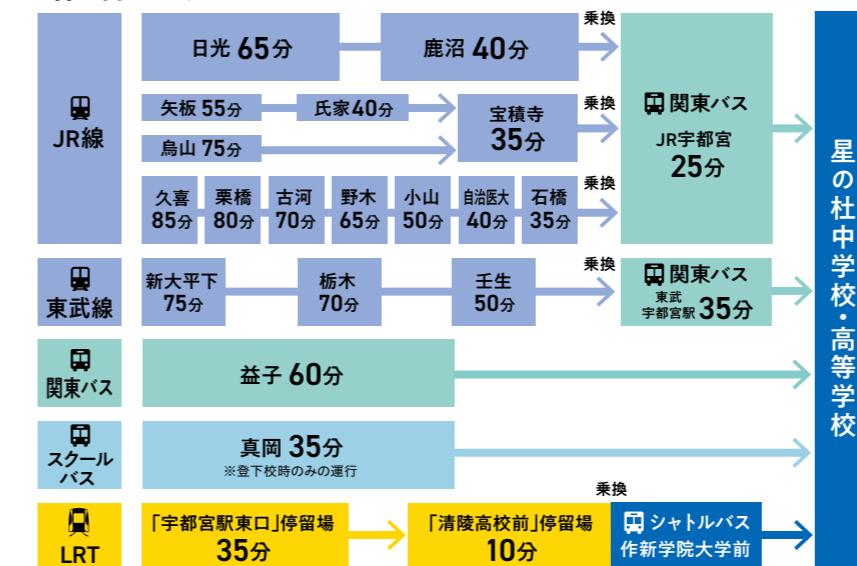
捨てられる教師 AIに駆逐される教師、生き残る教師



その他、多数……



## 路線図 [県内外主な地域からの通学時間の目安]



### 関東バスをご利用の場合

- JR宇都宮駅 発 → 「星の杜中学校・高等学校」下車(約25分)
- 東武宇都宮駅 発 → 「星の杜中学校・高等学校」下車(約35分)
- 益子駅 発 → 「星の杜中学校・高等学校」下車(約60分)

### スクールバスをご利用の場合

- 真岡より直通(約35分)  
※スクールバスは登下校時のみの運行です。

### LRTをご利用の場合

- 「宇都宮駅東口」停留場 発 → 「清陵高校前」停留場 下車  
→ 作新学院大学前より無料シャトルバスに乗換(約35分)  
※無料シャトルバスは登下校時のみの運行です。  
※LRTの運賃は片道300円、通学定期は運賃割引あり。

## 書籍発売中！

### 「星の杜 10の秘密+AI」

星の杜が挑戦する新しい学びの「秘密」をお届け



どのようにして星の杜が生まれたのか?  
星の杜の学びは他の学校と何が違うのか?  
校則なし、定期テストなしの学校生活ってぶっちゃけどうなのかな?  
先生だけではなく、たくさんの生徒や保護者、星の杜に関わるみんながそれそれの視点から、星の杜の『魅力』と『秘密』に迫る一冊です。

購入は  
こちらから



自分が受けた教育との違いや、生徒たちの自主性や思考力に衝撃を受けました。ここで学んだ生徒が社会に出てくる!と考えるとなんだか焦りを感じ、身が引き締まるので、自己啓発としてもおすすめの一冊です。

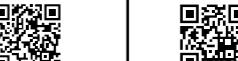
レビューより一部抜粋

最新情報は [星の杜公式SNS](#) を Check!

Instagram  
@hoshinomori2023

X (旧Twitter)  
@u\_kaisei1954

Facebook  
星の杜中学校・高等学校



学校法人 宇都宮海星学園

星の杜中学校・高等学校

〒321-3233 栃木県宇都宮市上籠谷町3776番地

TEL:028-667-0700 / FAX:028-667-6985

Mail:info-kaisei@u-kaisei.ed.jp



星の杜中学校・高等学校

<https://hoshinomori.ed.jp/>